

景気動向調査結果

(令和3年7月分)

長野県産業労働部

この調査は、県内企業 700 社（製造業 300 社（うちヒアリング 65 社）、非製造業 400 社（建設業、情報サービス業、小売業、卸売業、飲食業、宿泊業））を対象に、令和 3 年 7 月末の状況（前年同期、3 か月前と比較した状況、3 か月後の状況予想）について、令和 3 年 8 月にヒアリング又は書面により行ったものです。

なお、平成 23 年度の調査から、従来の「製造業」に、「非製造業」（建設業、情報サービス業、小売業、卸売業、飲食業、宿泊業）も加えて実施しています。

また、平成 26 年度の調査から、非製造業の調査対象企業数を従来の 600 社から 400 社に変更し、平成 29 年度の調査から、小売業と卸売業、飲食業と宿泊業を分けて結果を発表しています。

回答企業数は、452 社（製造業 244 社（うちヒアリング 65 社）、非製造業 208 社）で、回答率は 64.6 パーセントでした。

※調査結果の概要は、インターネットで御覧になれます。

<http://www.pref.nagano.lg.jp/sansei/sangyo/shokogyo/toukei/kekka/index.html>

お問い合わせ先：製造業について

長野県産業労働部産業政策課（TEL 026-232-0111 内線 2919）

非製造業について

長野県産業労働部経営・創業支援課（TEL 026-232-0111 内線 2961）

令和3年7月の景気動向

1 総論

長野県経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しの動きが続いています。

製造業の業況は、一部に新型コロナウイルス感染症の影響による需要の減少などがみられるものの、海外経済の改善もあって、電機・電子などで受注、生産が堅調に推移していることから、2期連続のプラス水準となりました。

非製造業の業況は、卸売業など一部の業種で改善したものの、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた小売業などで悪化し、全体では2期ぶりのマイナス水準となりました。

2 製造業

(1) 業界の業況

前年同期（令和2年7月）と比較したD I（業況が「好転」とする企業の割合から「悪化」とする企業の割合を引いた差）は50.6となり、前回調査時（令和3年4月）の20.6から30.0ポイント改善しました。

3か月前（令和3年4月）と比較したD Iは23.9となり、前回調査時の28.9より5.0ポイント悪化したものの、4期連続のプラス水準となりました。

また、3か月後（令和3年10月）の予想では、D Iは6.8となり、2期連続のプラス水準となりました。

〔主な業種の動き〕

ア 電機・電子では、パソコン、プリンターは、テレワーク向け需要が継続しており、受注、生産が堅調に推移しています。半導体関連は、国内外の半導体需要の高まりにより、情報通信関連向けや産業用途、自動車関連向けで、受注、生産に増加がみられます。抵抗器・コンデンサ等は、国内外の需要の増加により、情報通信関連向けや産業用途、自動車関連向けで、受注、生産が順調に推移しています。

イ 一般機械では、工作機械は、半導体市場の活況により、半導体関連向けで受注、生産に回復がみられます。自動車関連では、材料不足により一部の生産に足踏みがみられるものの、中国など海外向けを中心に、受注が堅調に推移しています。建設機械は、国内向けでは、公共工事向け需要の伸び悩みなどから、受注、生産で持ち直しの動きに一服感がみられます。北米や欧州など海外向けでは、需要の回復により、受注、生産が持ち直しています。

ウ 精密では、時計は、新型コロナウイルス感染症の影響により国内の需要が低迷しているものの、北米など海外の一部で需要に回復がみられ、受注、生産に持ち直しの兆しがみられます。レンズは、プロジェクター向けなどで、需要の減少から受注、生産が弱含んでいるものの、自動車関連向けで順調に推移しています。圧力計は、産業機械向けで設備投資に慎重な動きがみられるものの、半導体関連向けを中心に、受注、生産に回復がみられます。LPガスメーターは、取替需要の減少により、受注、生産に一服感がみられます。

エ 自動車部品では、一部に半導体不足による減産の影響がみられるものの、国内向け、海外向けともに、受注、生産が堅調に推移しています。

オ 食料品では、味そは、季節的要因により、3か月前と比べ受注、生産が減少しています。酒類は、清酒やワインは、新型コロナウイルスの感染再拡大に伴う業務用需要の減少から、受注、生産が弱含んでいます。飲料は、外出自粛による家庭用需要の増加や季節的要因によりペットボトル飲料を中心に受注、生産が増加しています。

(2)受注引合

前年同期比では、「増加」とする企業が66.5%と前回(53.1%)より増加し、「減少」とする企業が14.0%と前回(17.8%)より減少した結果、D Iは前回(35.3)より改善し、52.5となりました。

3か月前との比較では、「増加」とする企業が38.5%と前回(49.4%)より減少し、「減少」とする企業が14.6%と前回(11.2%)より増加した結果、D Iは前回(38.2)より悪化し、23.9となりました。

3か月後の予想については、「増加」とする企業が21.6%、「減少」とする企業が11.0%となった結果、D Iは10.6となりました。

(3)生産量

前年同期比では、「増加」とする企業が66.9%と前回(50.0%)より増加し、「減少」とする企業が14.2%と前回(20.7%)より減少した結果、D Iは前回(29.3)より改善し、52.7となりました。

3か月前との比較では、「増加」とする企業が39.7%と前回(51.5%)より減少し、「減少」とする企業が17.3%と前回(13.7%)より増加した結果、D Iは前回(37.8)より悪化し、22.4となりました。

3か月後の予想については、「増加」とする企業が25.8%、「減少」とする企業が12.3%となった結果、D Iは13.5となりました。

(4)製品販売価格

前年同期比では、「高い」とする企業が14.0%と前回(10.8%)より増加し、「安い」とする企業が8.3%と前回(10.8%)より減少した結果、D Iは前回(0.0)より改善し、5.7となりました。

3か月前との比較では、「高い」とする企業が10.0%と前回(6.2%)より増加し、「安い」とする企業が5.0%と前回(4.6%)よりやや増加した結果、D Iは前回(1.6)より改善し、5.0となりました。

3か月後の予想については、「高い」とする企業が6.7%、「安い」とする企業が4.2%となった結果、D Iは2.5となりました。

(5)資金繰り

前年同期比では、「らく」とする企業が21.8%と前回(19.3%)より増加し、「苦しい」とする企業が7.3%と前回(9.4%)より減少した結果、D Iは前回(9.9)より改善し、14.5となりました。

3か月前との比較では、「らく」とする企業が13.0%と前回(11.6%)より増加し、「苦しい」とする企業が7.4%と前回(6.0%)より増加した結果、D Iは前回(5.6)と同じ、5.6となりました。

3か月後の予想については、「らく」とする企業が8.7%、「苦しい」とする企業が7.4%となった結果、D Iは1.3となりました。

(6)収益率

前年同期比では、「上昇」とする企業が44.7%と前回(32.2%)より増加し、「低下」とする企業が22.1%と前回(25.6%)より減少した結果、D Iは前回(6.6)より改善し、22.6となりました。

3か月前との比較では、「上昇」とする企業が22.9%と前回(27.4%)より減少し、「低下」とする企業が21.7%と前回(17.8%)より増加した結果、D Iは前回(9.6)より悪化し、1.2となりました。

3か月後の予想については、「上昇」とする企業が8.8%、「低下」とする企業が20.2%となった結果、D Iは△11.4となりました。

(7) 製造業の業種別動向

電機・電子

(コンピュータ・情報機器) パソコン、プリンターは、テレワーク向け需要が継続しており、受注、生産が堅調に推移しています。

(半導体関連・プリント基板) 国内外の半導体需要の高まりにより、情報通信関連向けや産業用途、自動車関連向けで受注、生産に増加がみられます。

(抵抗器・コンデンサ等) 国内外の需要の増加により、情報通信関連向けや産業用途、自動車関連向けで、受注、生産が順調に推移しています。

(モーター等) 航空機向けは、小型・中型機を中心に受注、生産に持ち直しの動きがみられます。産業用途、自動車関連向けは、国内外の需要の増加により、受注、生産が堅調に推移しています。

(その他) カーナビゲーションは、国内需要の増加などにより、受注、生産が堅調に推移しています。電源関連は、国内需要の減少により、低調に推移しています。

一般機械

(工作機械) 半導体市場の活況により、半導体関連向けで受注、生産に回復がみられます。自動車関連では、材料不足により一部の生産に足踏みがみられるものの、中国など海外向けを中心に、受注が堅調に推移しています。

(金 型) 自動車関連向けで、受注、生産が持ち直しています。

(建設機械) 国内向けでは、公共工事向け需要の伸び悩みなどから、受注、生産で持ち直しの動きに一服感がみられます。北米や欧州など海外向けでは、需要の回復により、受注、生産が持ち直しています。

(農業用機械等) 新型コロナウイルスによる買い控えの反動等による国内需要の増加により、受注、生産が持ち直しています。

精 密

(時 計)

腕時計は、新型コロナウイルス感染症の影響により国内の需要が低迷しているものの、北米など海外の一部で需要に回復がみられ、受注、生産に持ち直しの兆しがみられます。

(レ ン ズ)

レンズは、プロジェクター向けなどで、需要の減少から受注、生産が弱含んでいるものの、自動車関連向けで順調に推移しています。

(計 器)

圧力計は、産業機械向けで設備投資に慎重な動きがみられるものの、半導体関連向けを中心に、受注、生産に回復がみられます。LPガスメーターは、取替需要の減少により、受注、生産に一服感がみられます。

自 動 車 部 品

自動車部品では、一部で半導体不足による減産の影響がみられるものの、国内向け、海外向けともに、受注、生産が堅調に推移しています。

食 料 品

(味 そ)

季節的要因により、3か月前と比べ受注、生産が減少しています。

(酒 類)

清酒やワインは、新型コロナウイルスの感染再拡大に伴う業務用需要の減少から、受注、生産が弱含んでいます。

(飲 料)

外出自粛による家庭用需要の増加や季節的要因により、ペットボトル飲料を中心に受注、生産が増加しています。

織 維 ・ 衣 服

季節的要因や外出機会の減少により、受注、生産が弱含んでいます。

紙 ・ パ ル プ

ダンボールは、季節的要因により、農産物向けで受注、生産が増加しています。

印 刷

印刷・製本の需要の低迷などにより、引き続き低調に推移しています。

そ の 他

プラスチック成型部品は、スマートフォン向けで受注、生産に持ち直しの動きがみられます。

3 非製造業

業界の業況

前年同期（令和2年7月）と比較したD Iは $\Delta 4.4$ となり、前回調査時（令和3年4月）の8.2より12.6ポイント悪化し、2期ぶりのマイナス水準となりました。

3か月前（令和3年4月）と比較したD Iは $\Delta 2.4$ となり、前回調査時の $\Delta 2.9$ より0.5ポイント改善しました。

また、3か月後（令和3年10月）の予想では、D Iは $\Delta 14.7$ となりました。

【各業種の動き】

ア 建設業

建設業では、公共工事、民間工事ともに工事量は前年並みの水準だったものの、厳しい受注競争が続いているほか、資材価格等のコスト上昇や技術者などの人手不足により収益率D Iが悪化したことから、業況D Iは $\Delta 11.4$ と前回（ $\Delta 3.3$ ）より悪化しました。

3か月後の業況D Iは、5.5です。

イ 情報サービス業

情報サービス業では、企業のシステム投資は弱い動きが続いているものの、保守サポートなど安定的な受注があったほか、公共関連ではシステム開発など新規の受注も一部にみられ、受注件数D I、売上高D Iが改善したことから、業況D Iは30.0と前回（0.0）より改善しました。

3か月後の業況D Iは、0.0です。

ウ 小売業

小売業では、新型コロナウイルス感染症再拡大に伴う外出自粛などにより衣料品や化粧品などが低調だったほか、食料品は、感染拡大防止策に伴う巣ごもり需要などにより堅調だったものの一部で前年からの反動減がみられ客数D I、売上高D Iが悪化したことから、業況D Iは $\Delta 25.5$ と前回（0.9）より悪化しました。

3か月後の業況D Iは、 $\Delta 22.1$ です。

エ 卸売業

卸売業では、半導体不足による影響が一部でみられたほか、新型コロナウイルス感染症の影響が続いている外食、観光関連向け食品卸の需要が低調だったものの、建設関連資材などの需要が増加したため客数D I、売上高D Iが改善したことから、業況D Iは45.4と前回（11.1）より改善しました。

3か月後の業況D Iは、 $\Delta 28.6$ です。

オ 飲食業

飲食業では、一部で客数の増加がみられたものの、緊急事態宣言等の発令や営業時間の短縮・休業要請など新型コロナウイルス感染拡大防止策の継続などにより観光客や法人利用の減少が長期化しているため、客数D I、売上高D Iが悪化したことから、業況D Iは18.2と前回（29.2）より悪化しました。

3か月後の業況D Iは、 $\Delta 4.6$ です。

カ 宿泊業

宿泊業では、一部で客数の増加がみられたものの、新型コロナウイルス感染症の影響により団体の利用減少が続いているほか、客室稼働率は低調であり販売単価が低下したため売上高D I、収益率D Iが悪化したことから、業況D Iは28.5と前回（57.1）より悪化しました。

3か月後の業況D Iは、 $\Delta 23.1$ です。

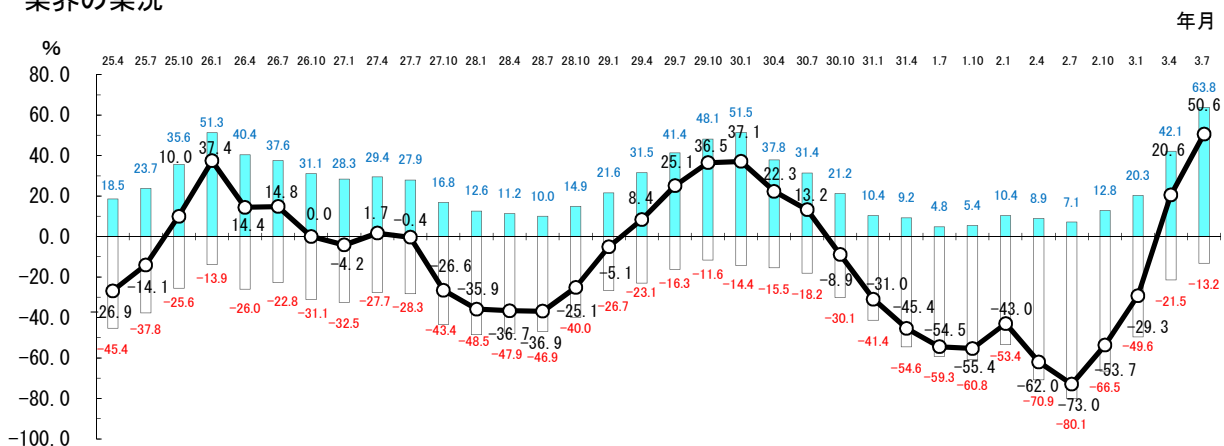
景気動向調査集計結果

(注)棒グラフのプラス側は好転（増加、上昇）の企業の割合、マイナス側は悪化（減少、低下）の企業の割合です。
折れ線グラフ（D I）は好転（増加、上昇）の企業の割合から悪化（減少、低下）の企業の割合を引いた差です。

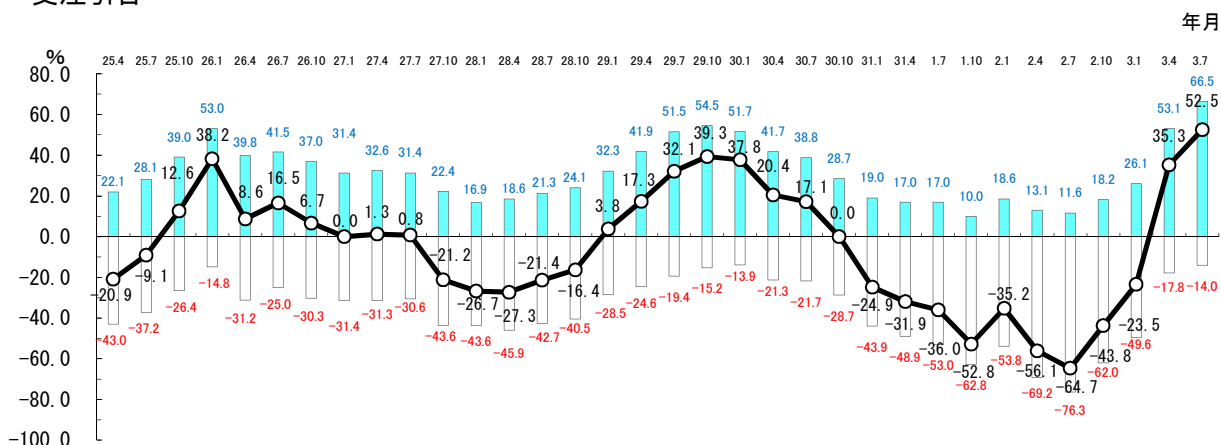
1 製造業

(1) 前年同期に比べて

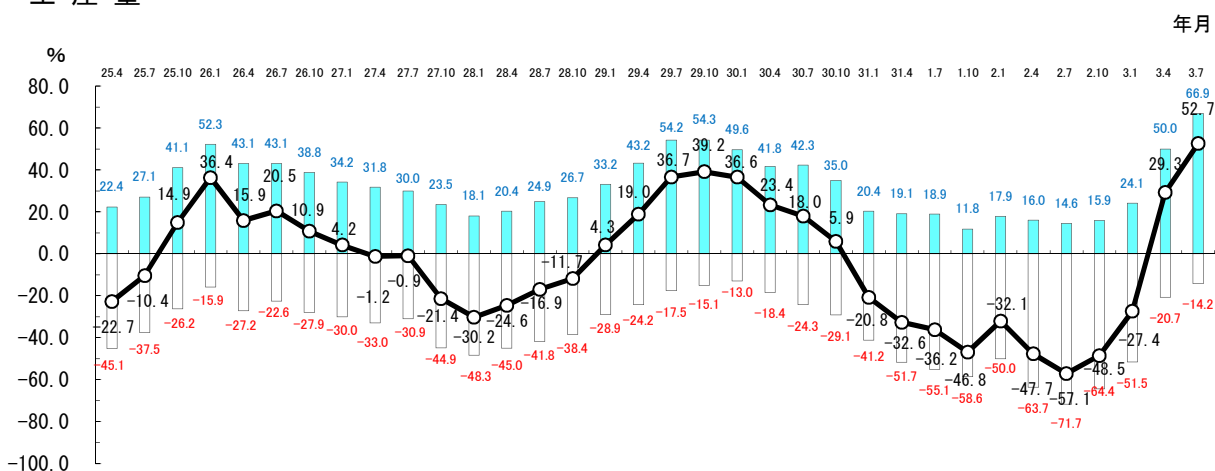
業界の業況



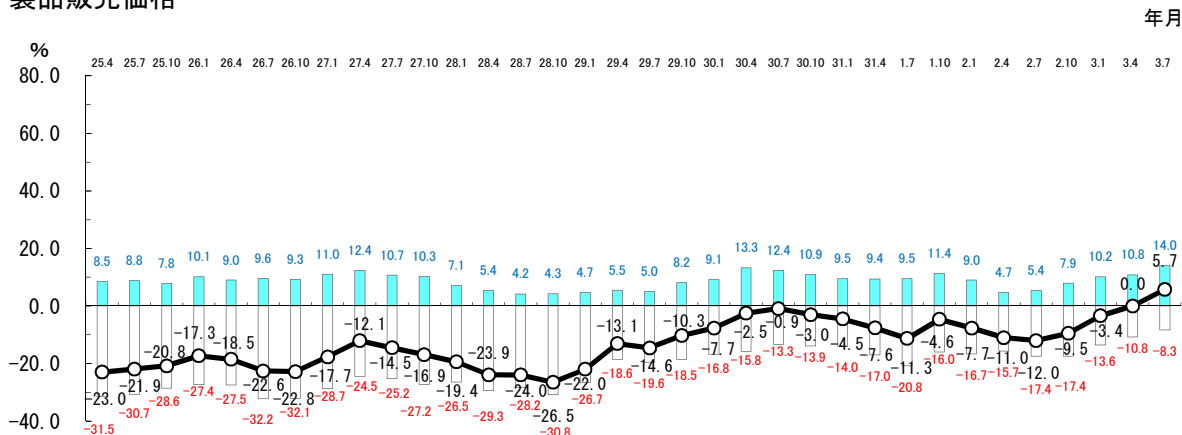
受注引合



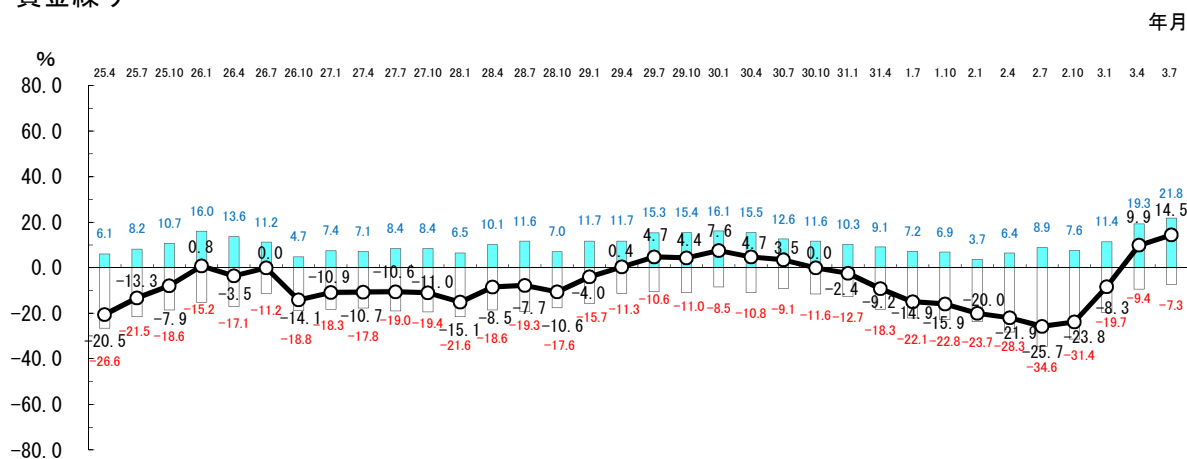
生産量



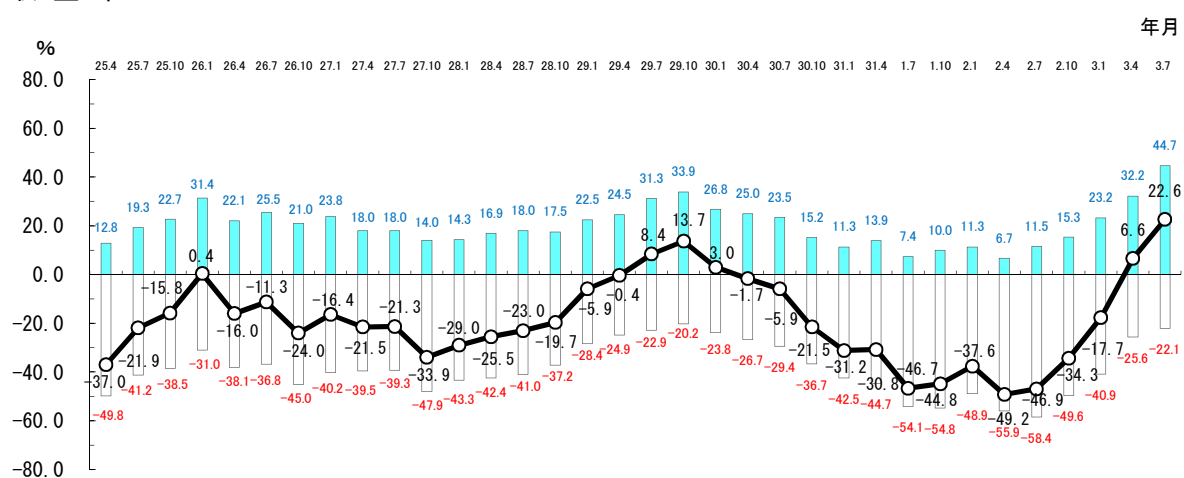
製品販売価格



資金繰り

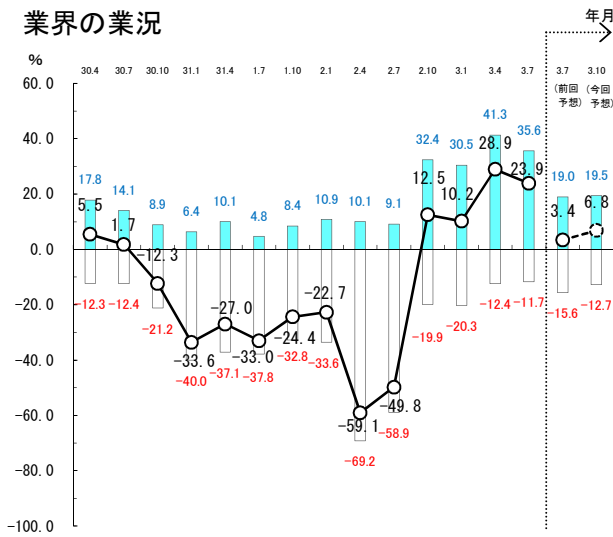


収益率

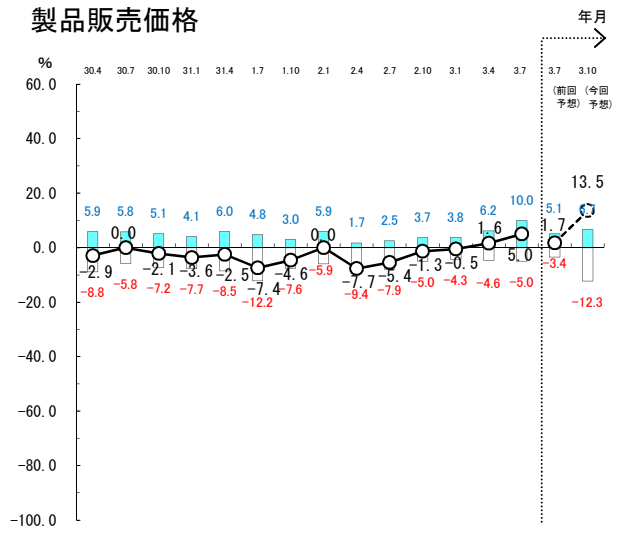


(2) 3か月前に比べて及び3か月後の予想

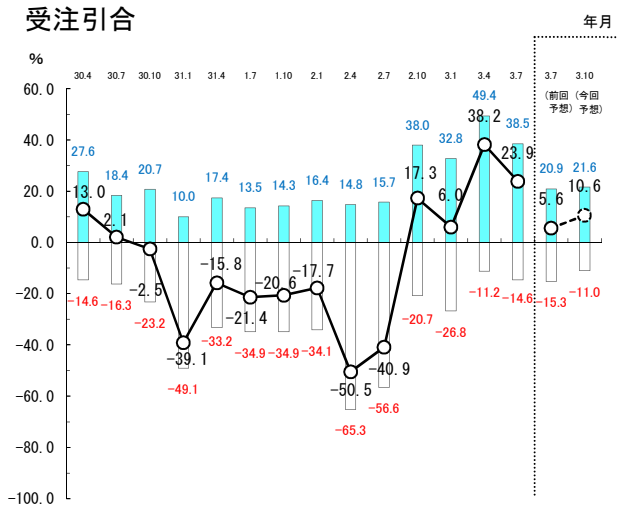
業界の業況



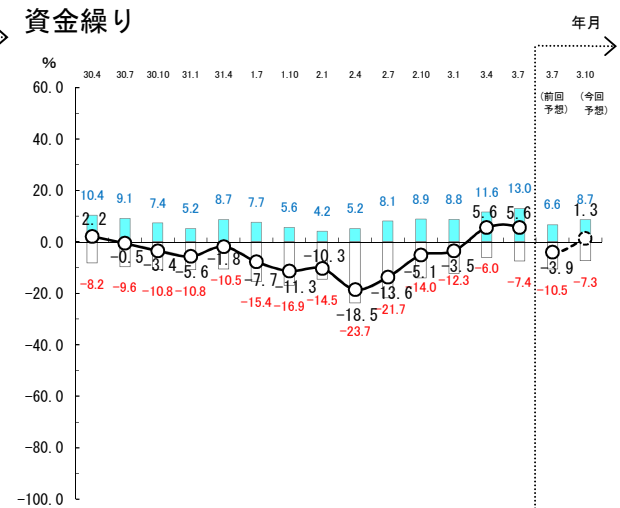
製品販売価格



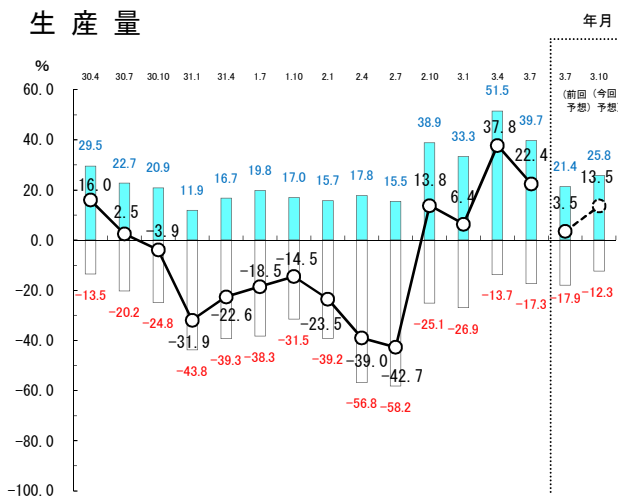
受注引合



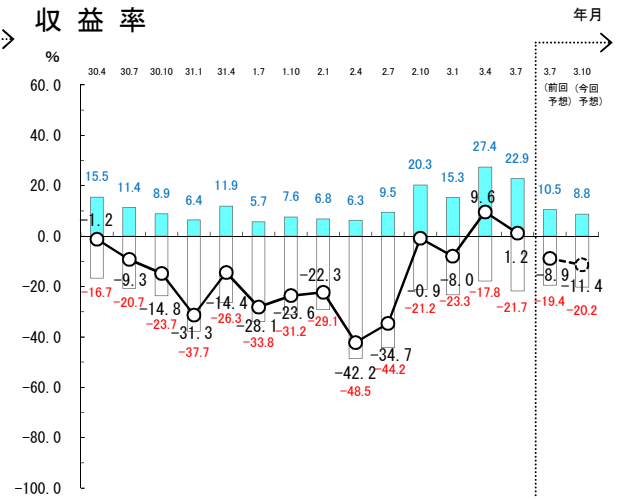
資金繰り



生産量



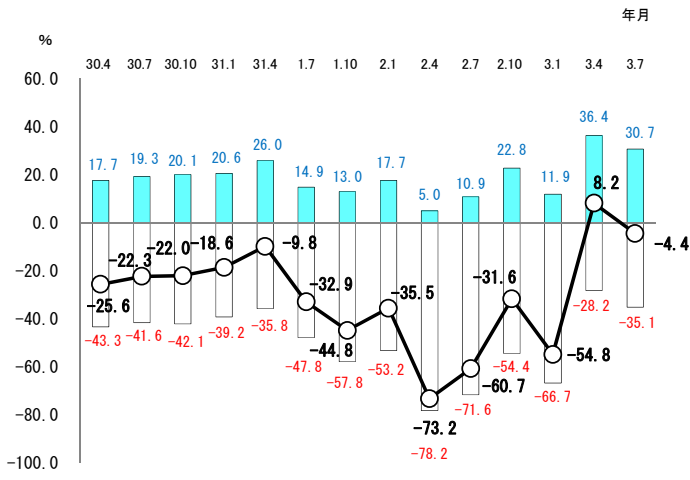
収益率



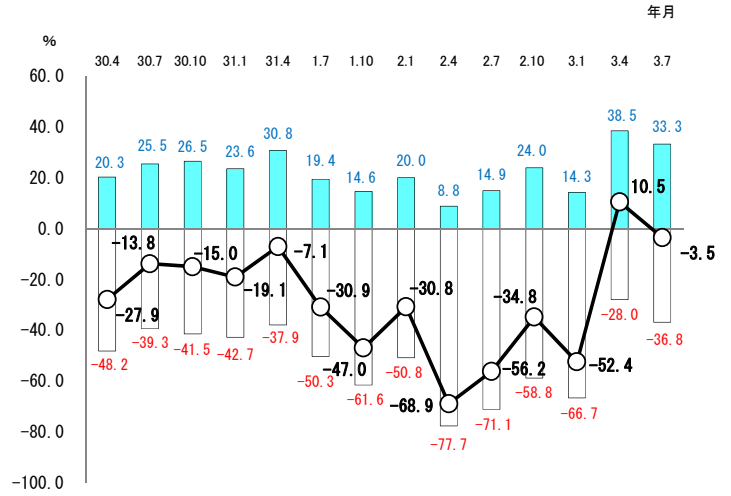
2 非製造業

(1) 前年同期に比べて 非製造業全体

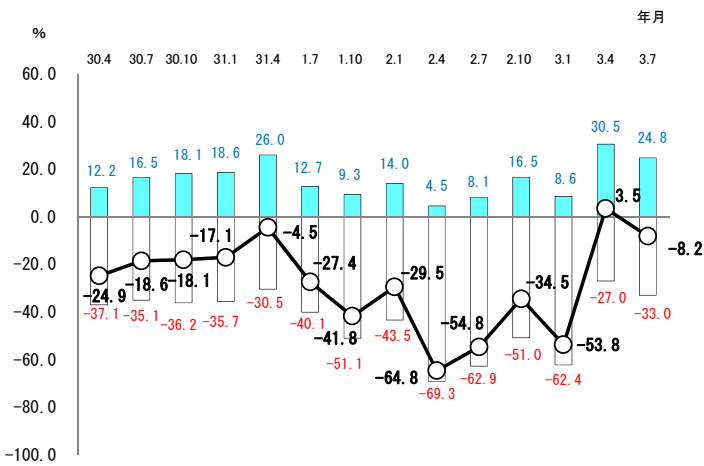
業況



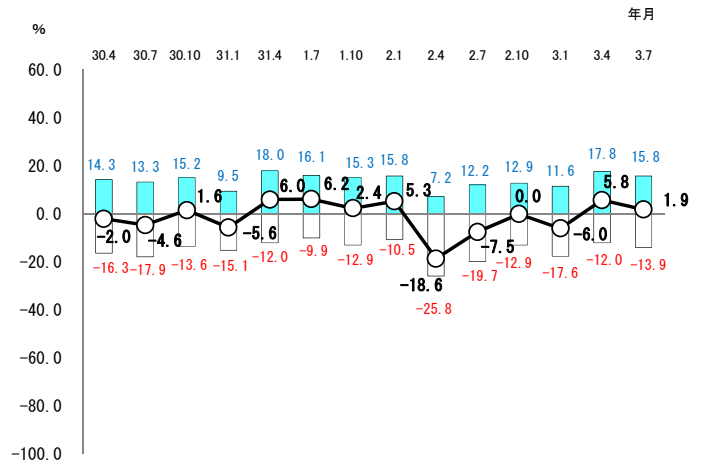
売上高



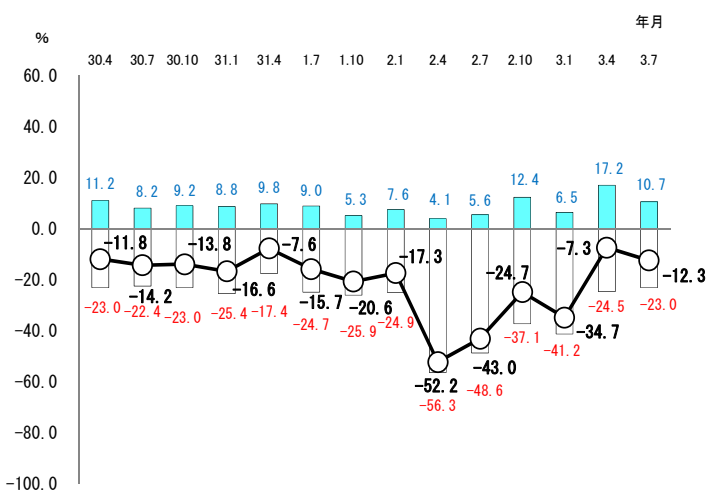
客数 (受注件数・取引先数)



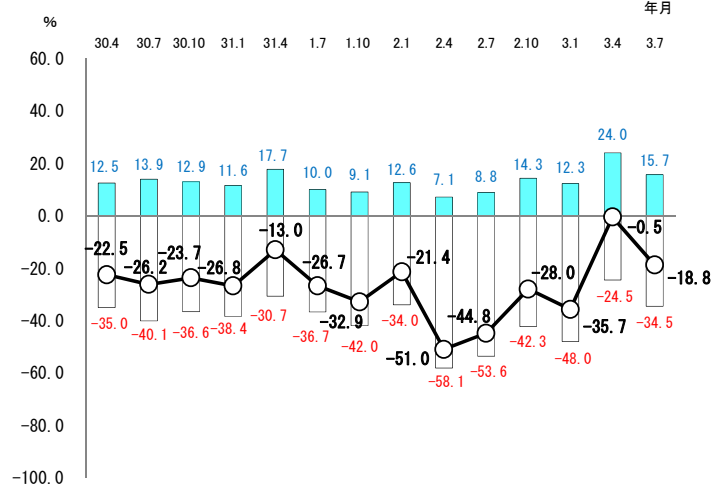
販売価格



資金繰り

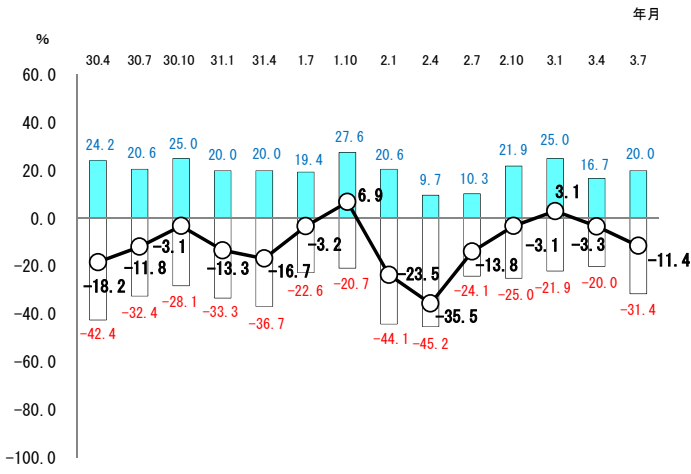


収益率

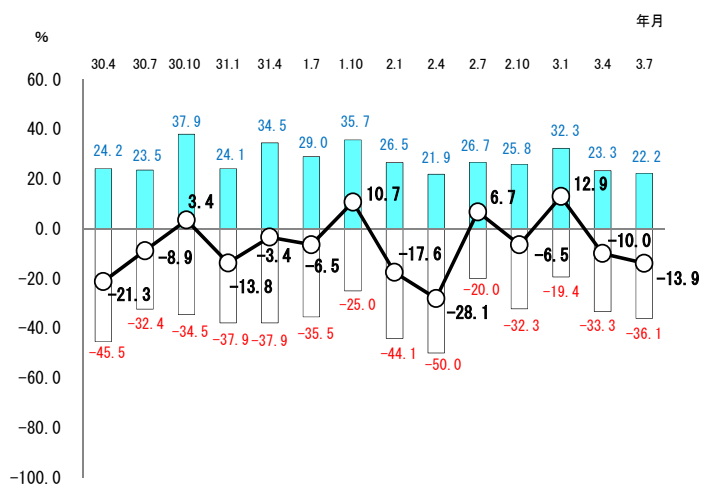


ア 建設業

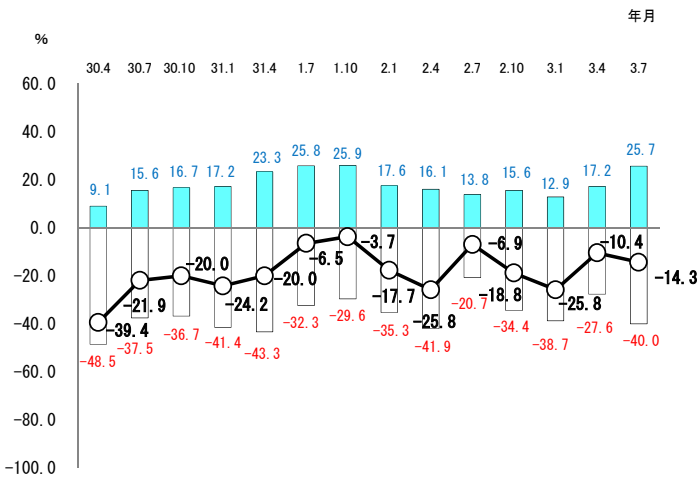
業況



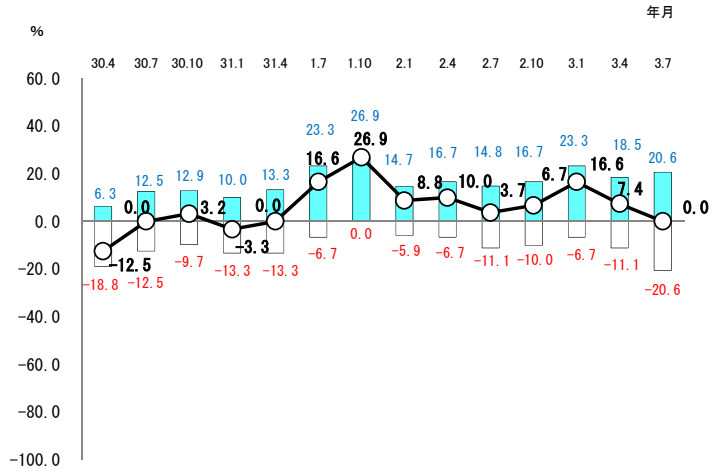
売上高



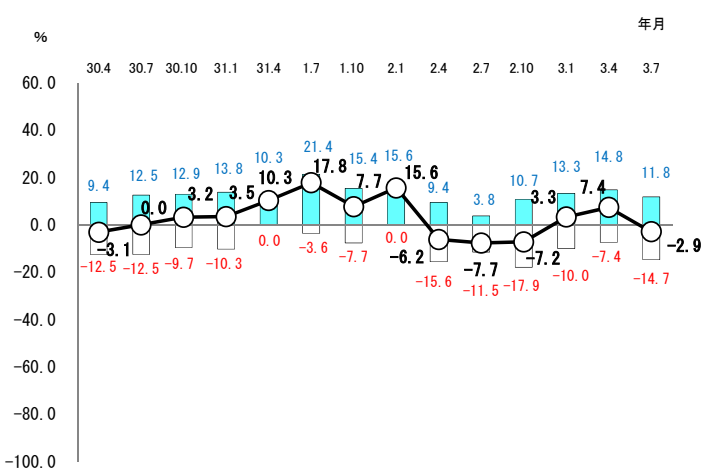
客数 (受注件数)



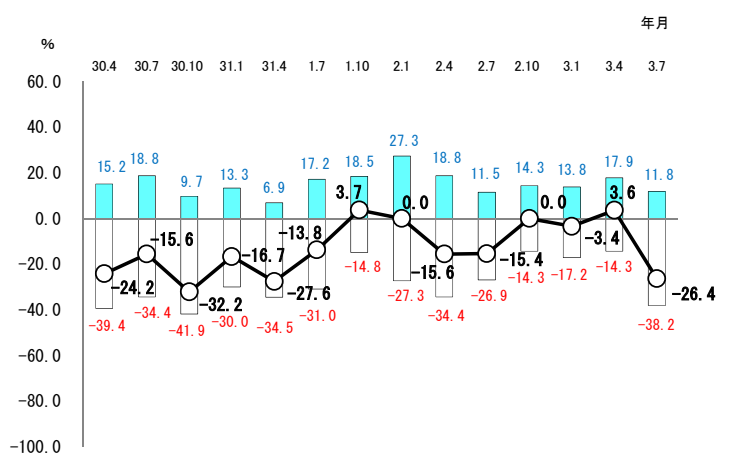
販売価格



資金繰り

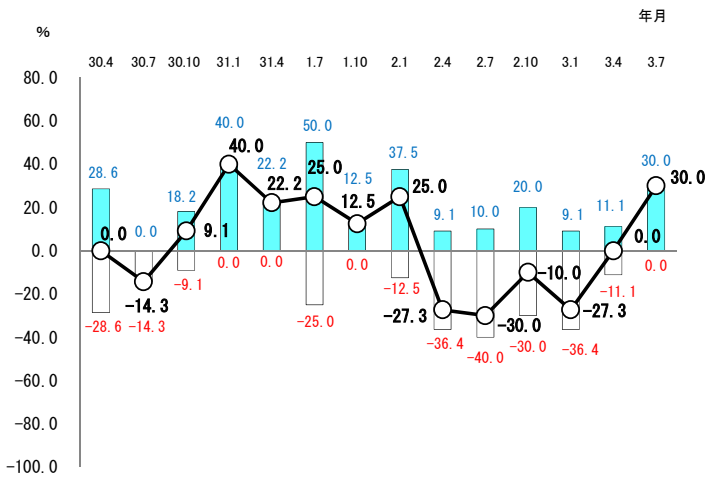


収益率

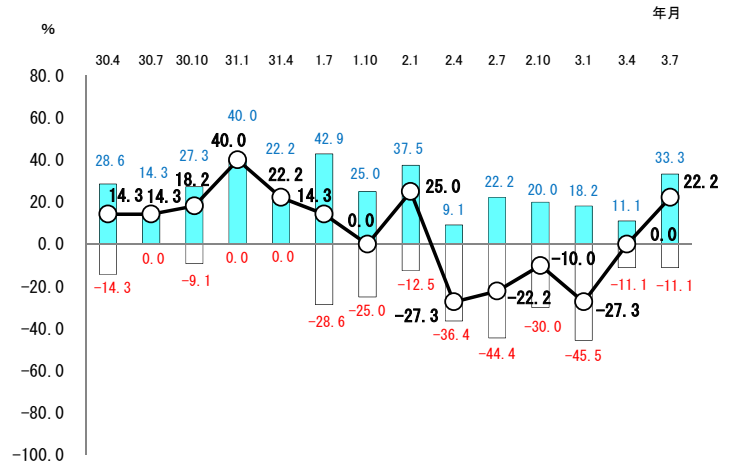


イ 情報サービス業

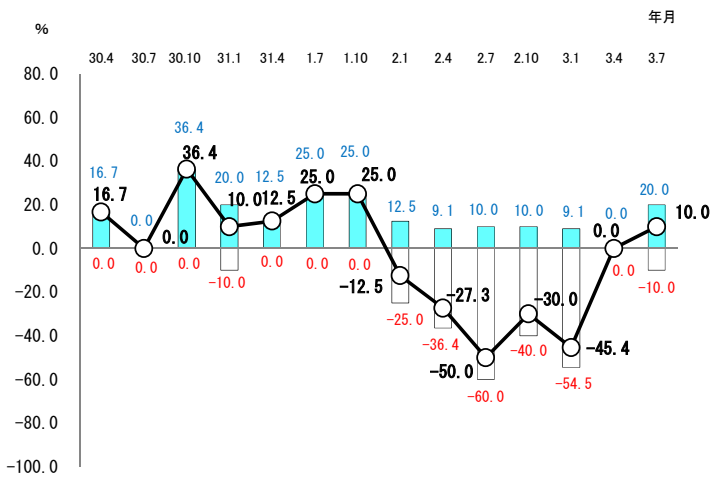
業況



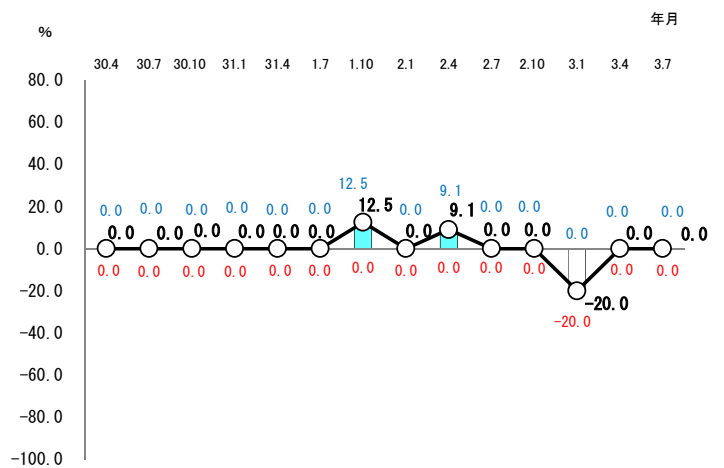
売上高



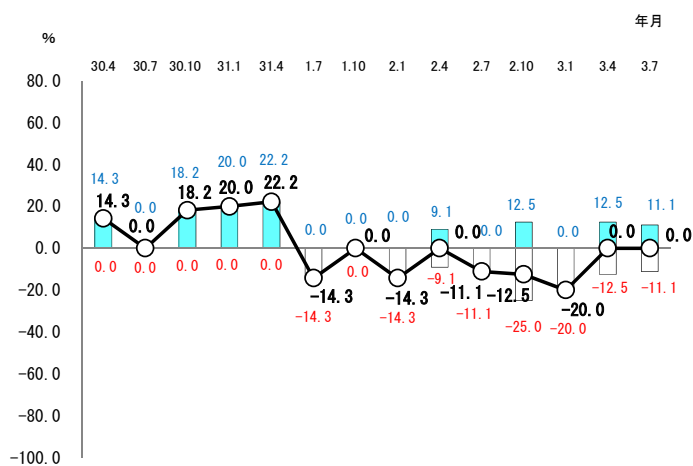
客数 (受注件数)



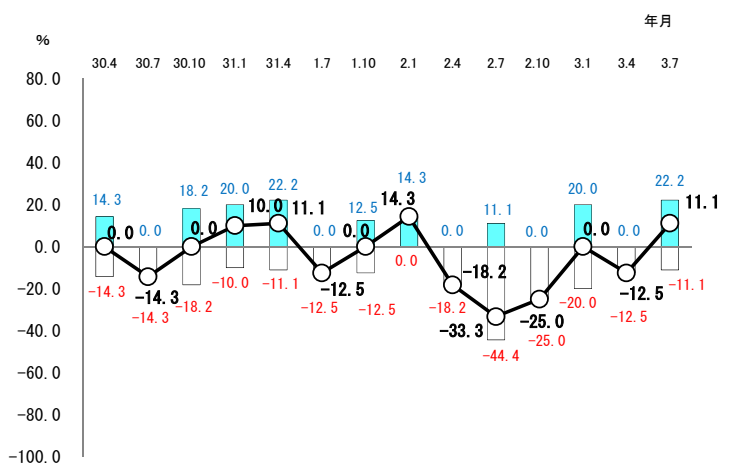
販売価格



資金繰り

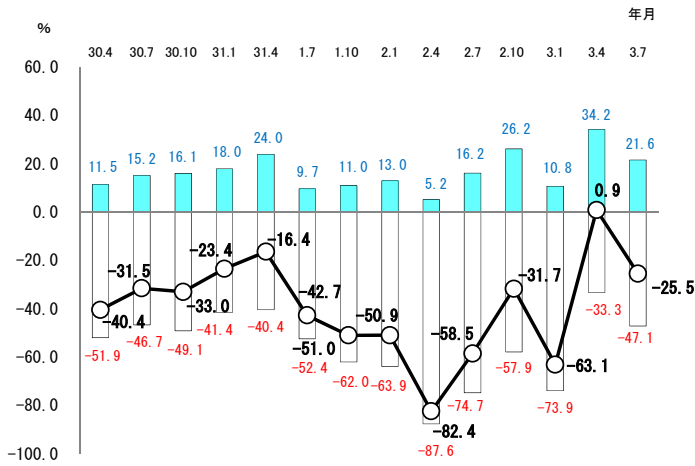


収益率

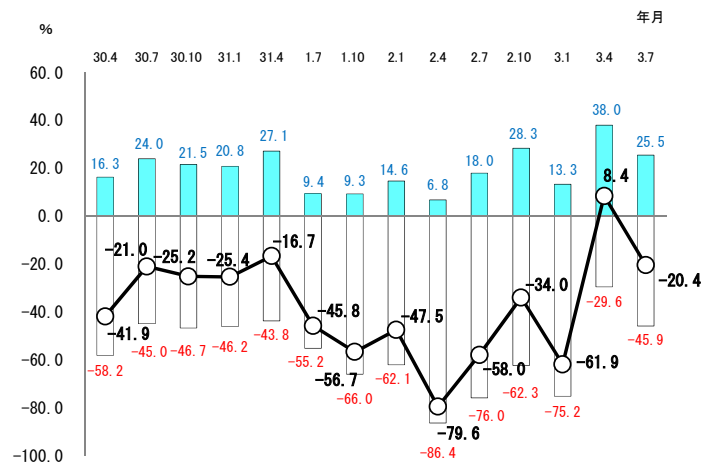


ウ 小売業

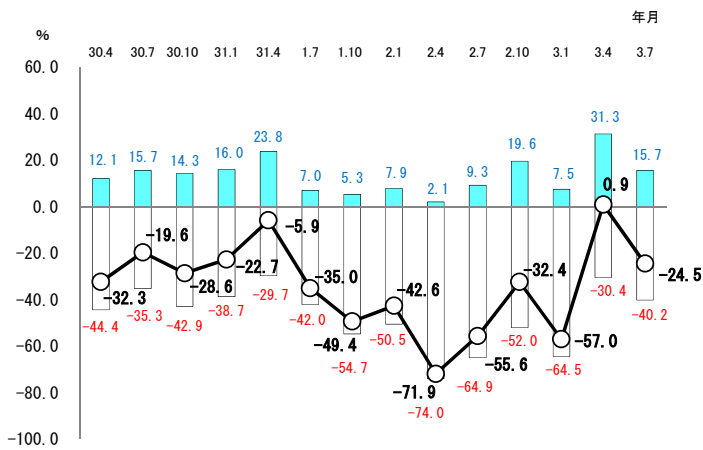
業況



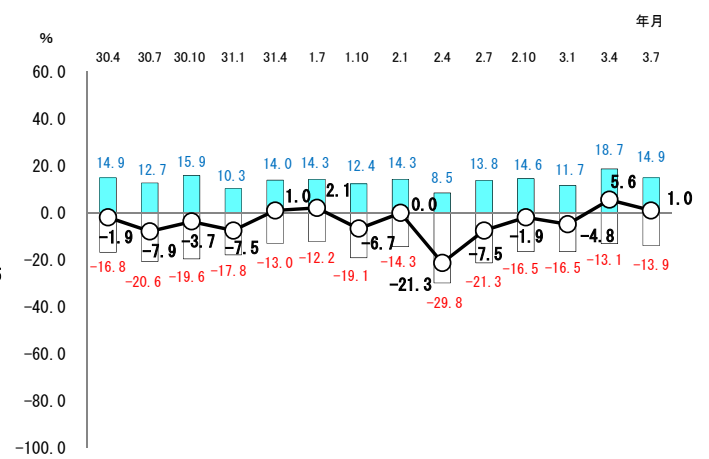
売上高



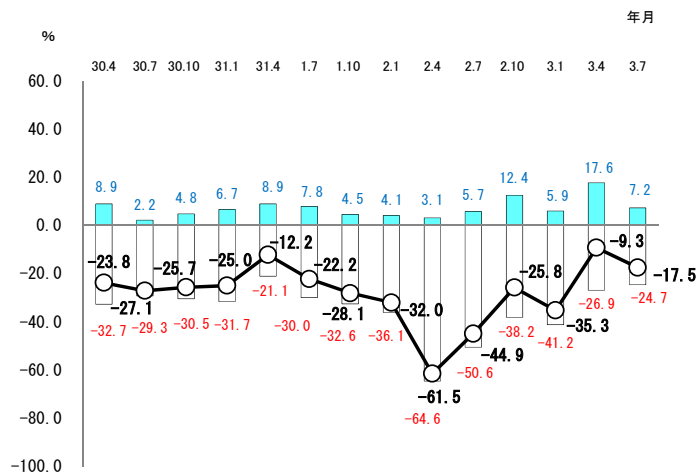
客数



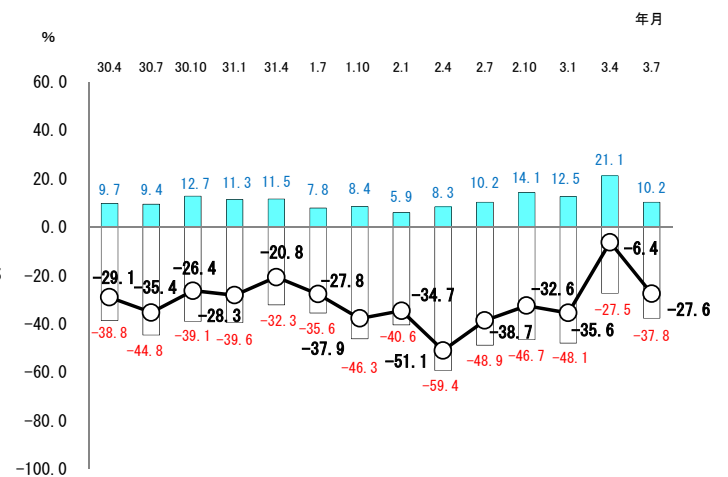
販売価格



資金繰り

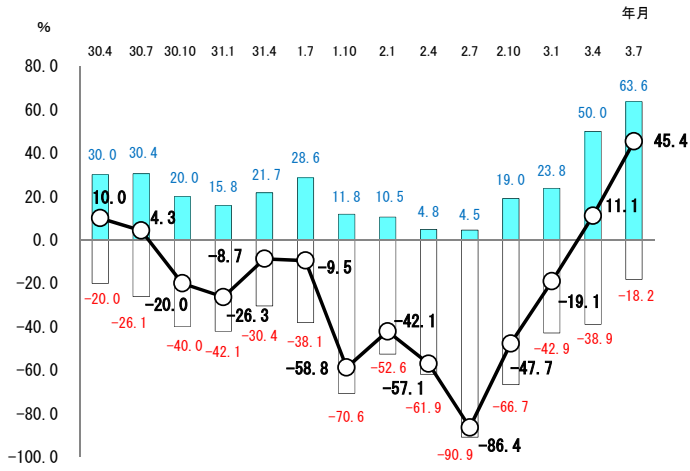


収益率

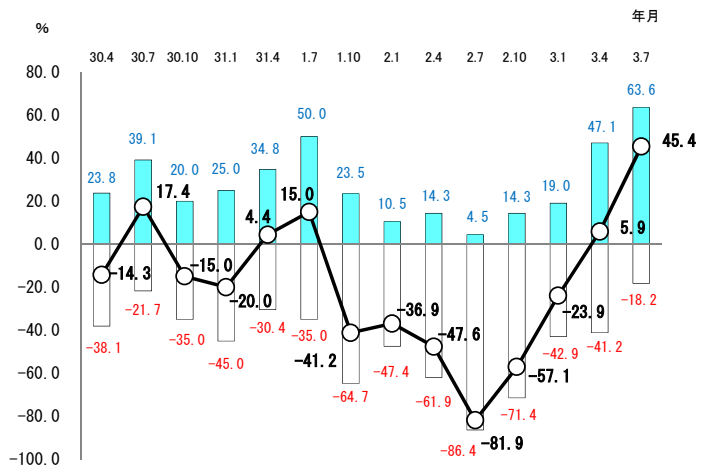


工 卸売業

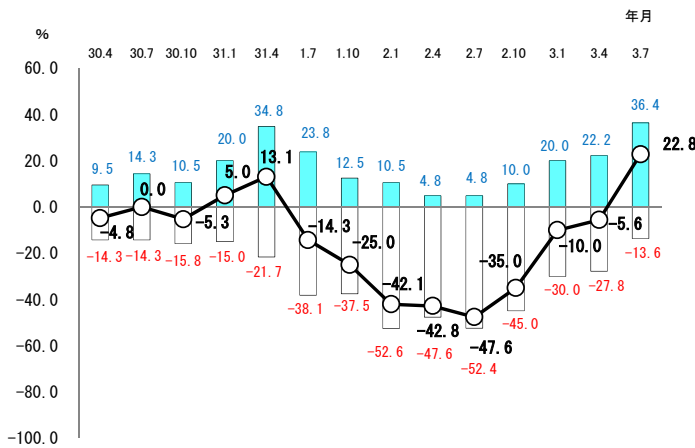
業況



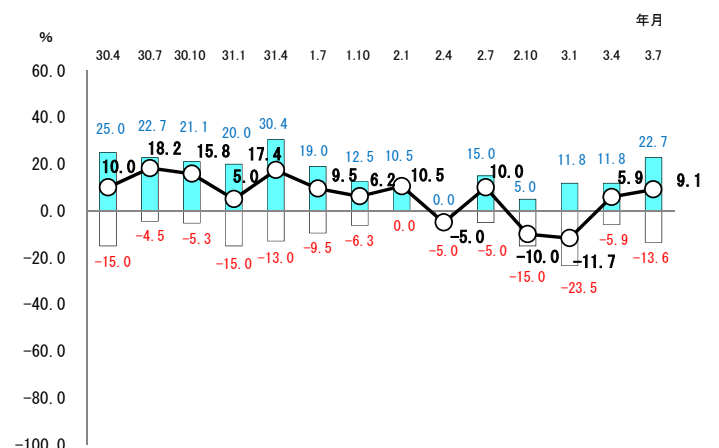
売上高



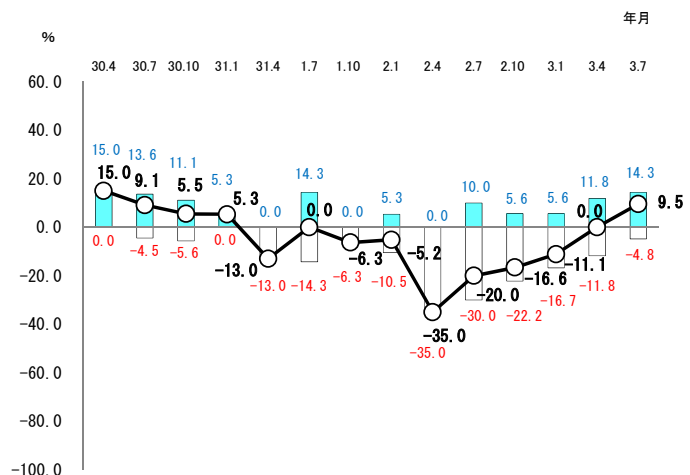
客数 (取引先数)



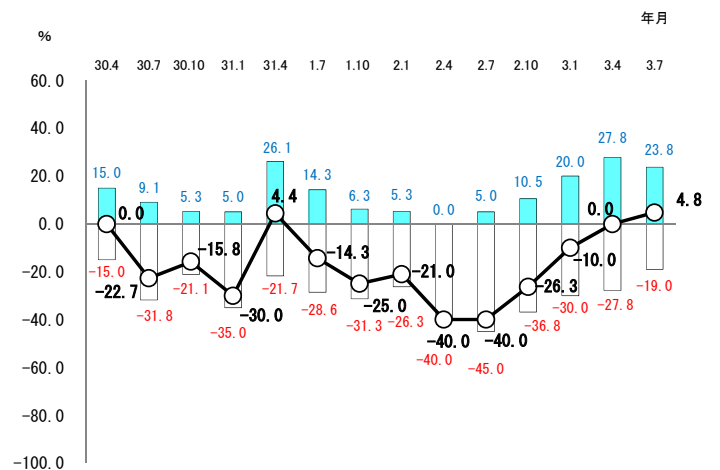
販売価格



資金繰り

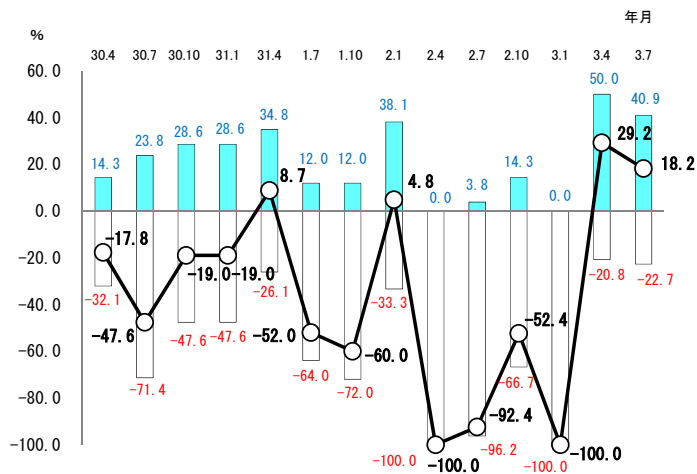


収益率

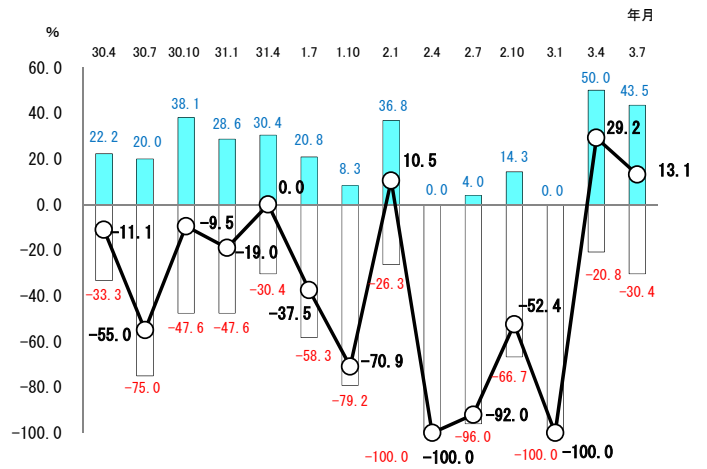


才 飲食業

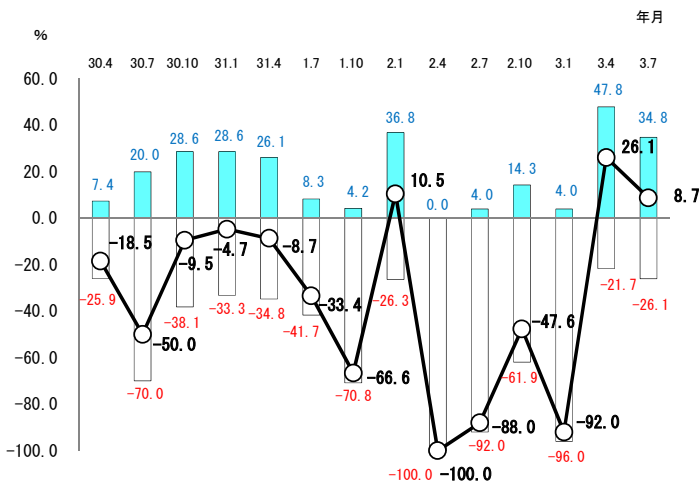
業況



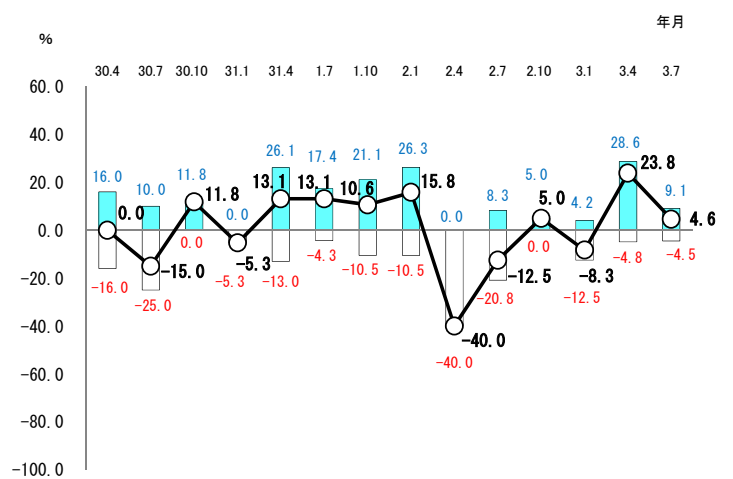
売上高



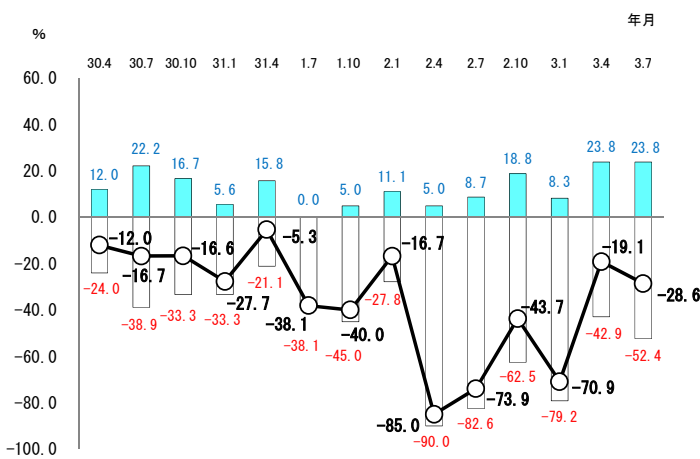
客数



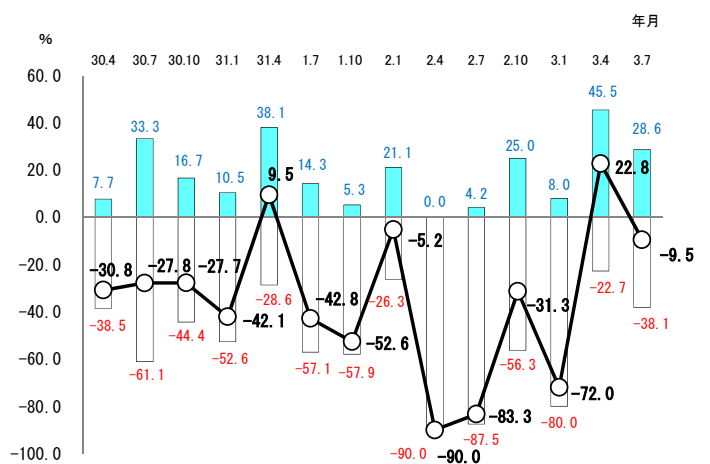
販売価格



資金繰り

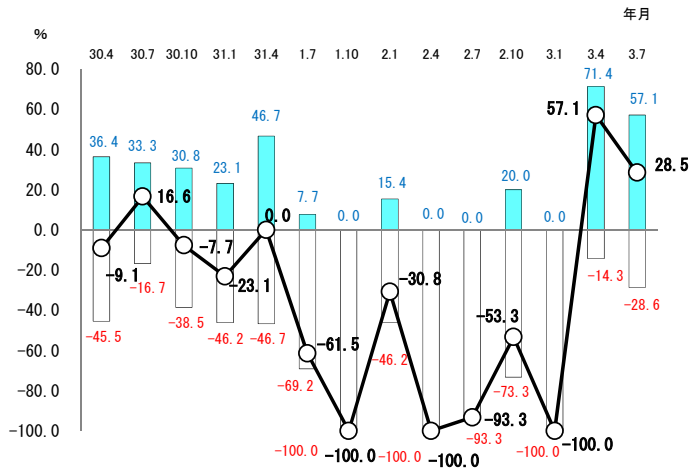


収益率

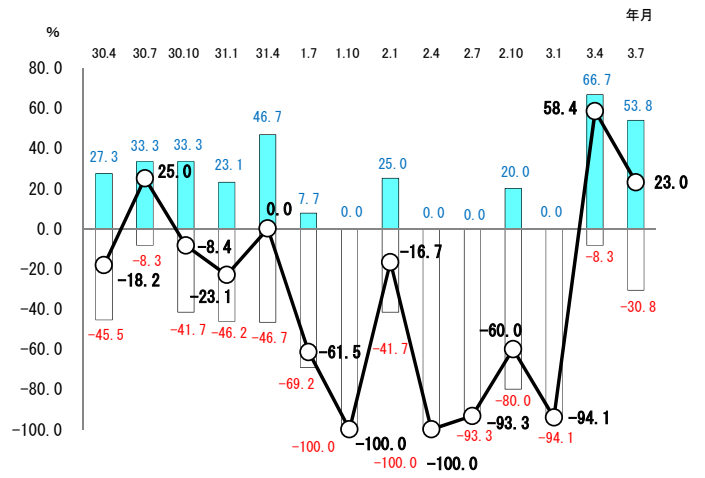


力 宿泊業

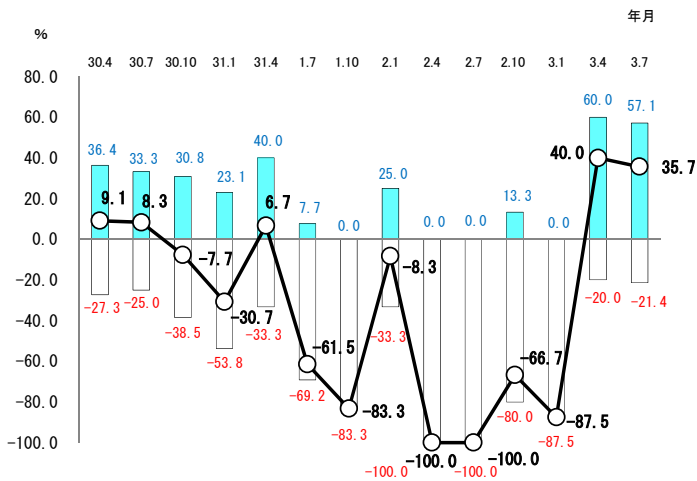
業況



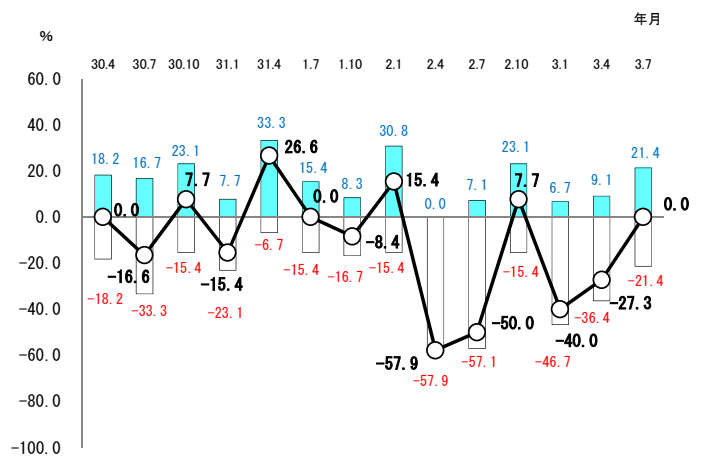
売上高



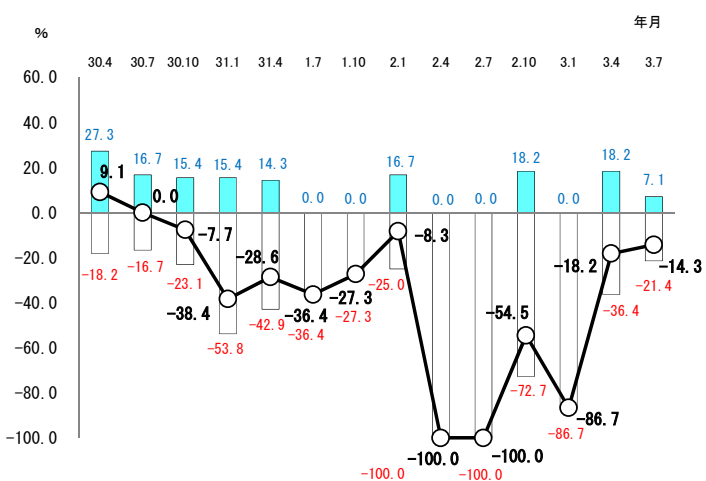
客数



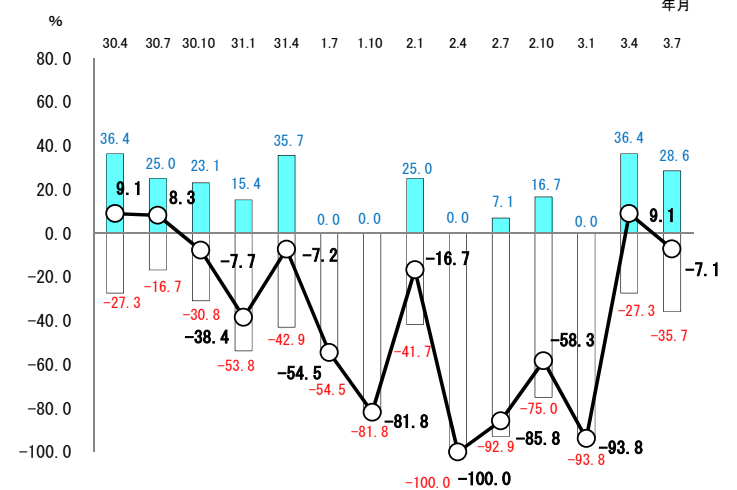
販売価格



資金繰り

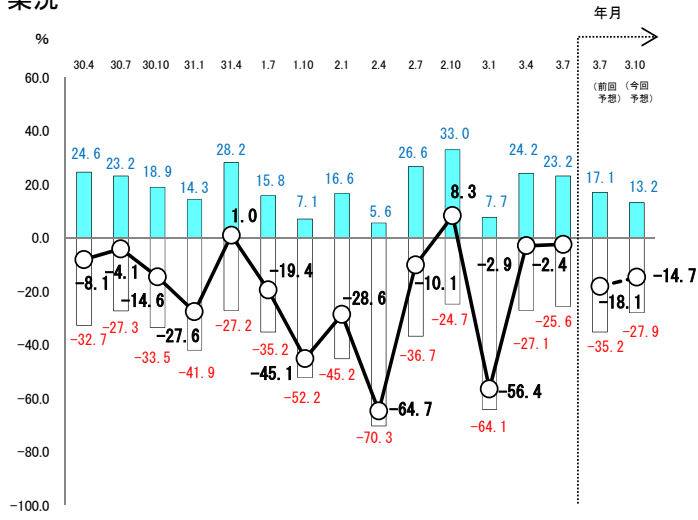


収益率

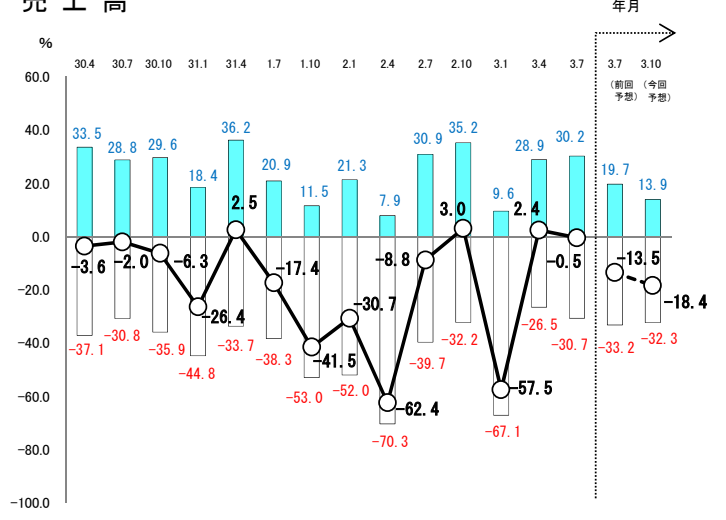


(2) 3か月前に比べて及び3か月後の予想 非製造業全体

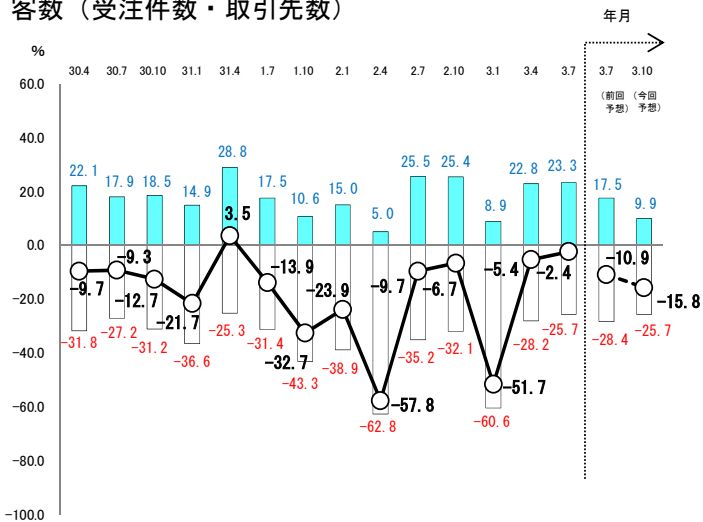
業況



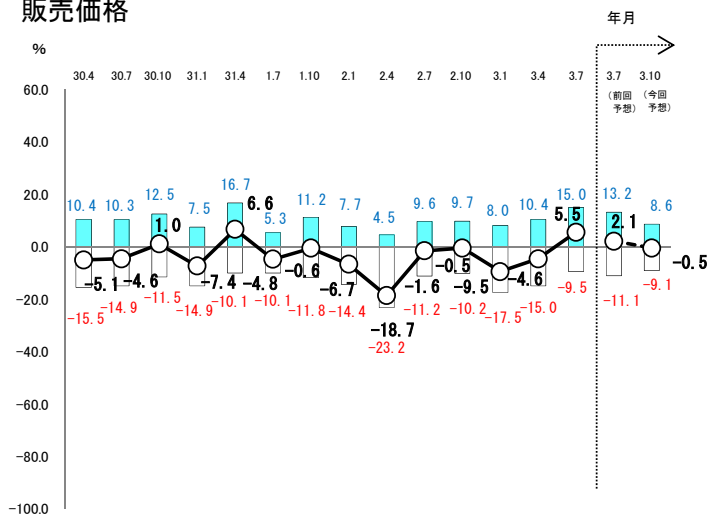
売上高



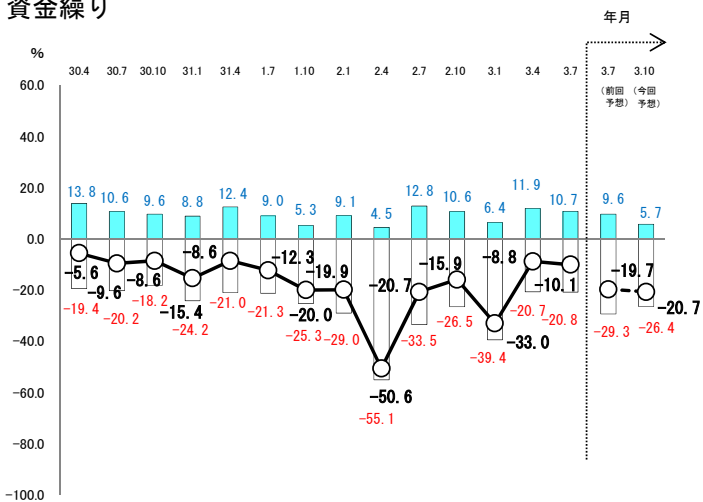
客数 (受注件数・取引先数)



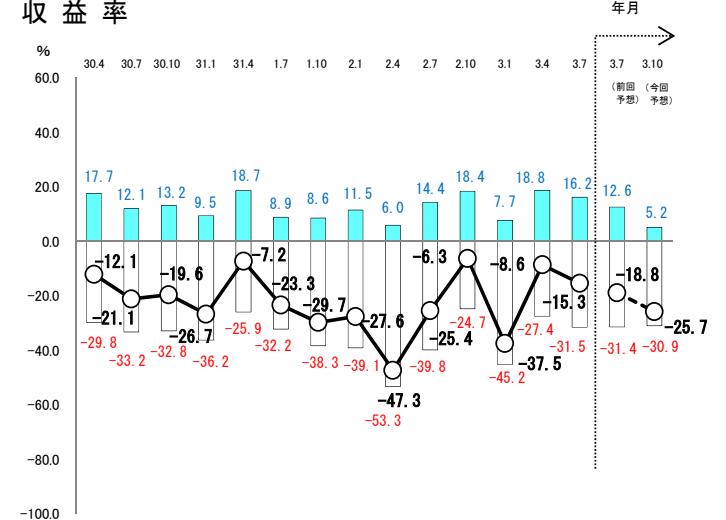
販売価格



資金繰り

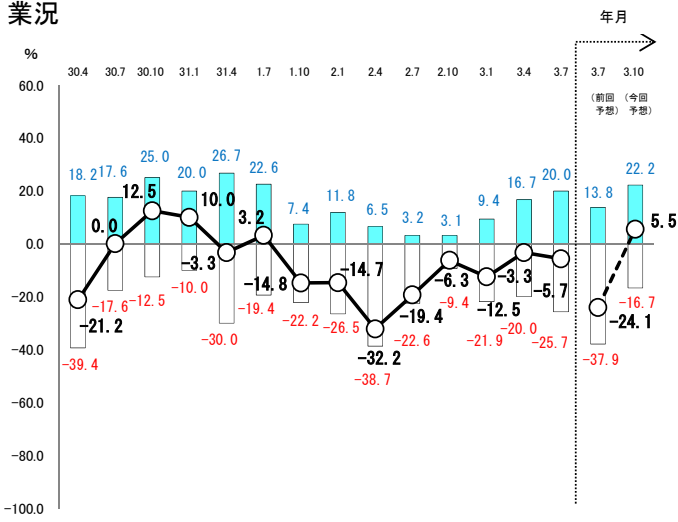


収益率

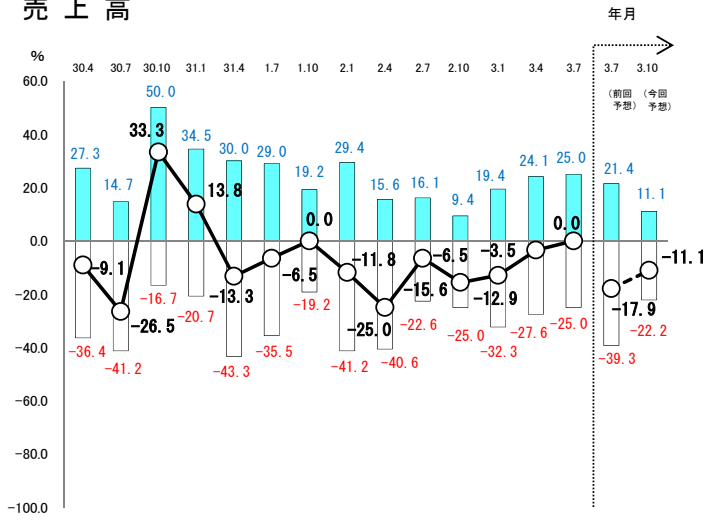


ア 建設業

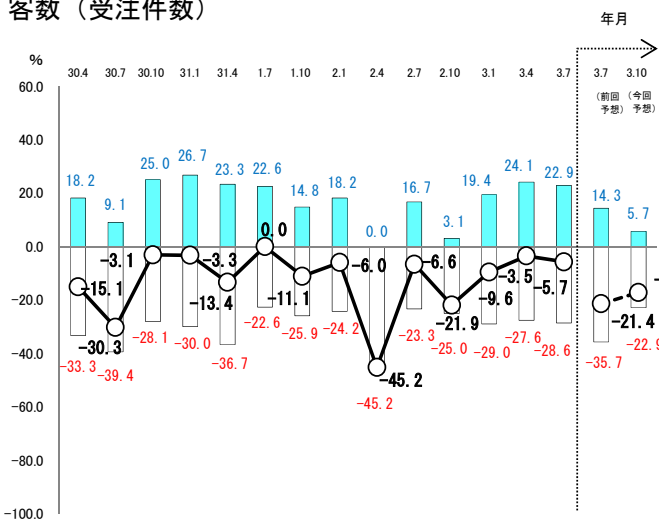
業況



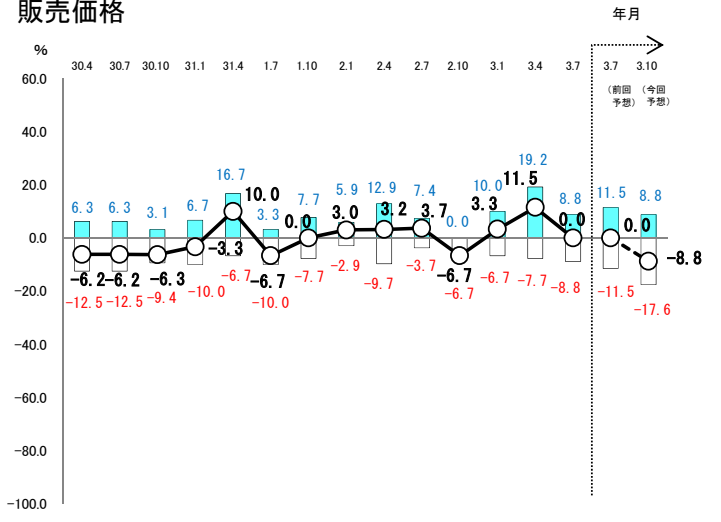
売上高



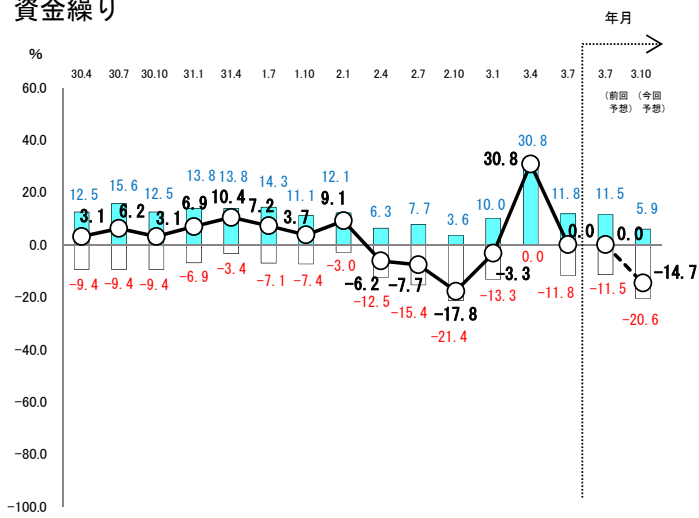
客数 (受注件数)



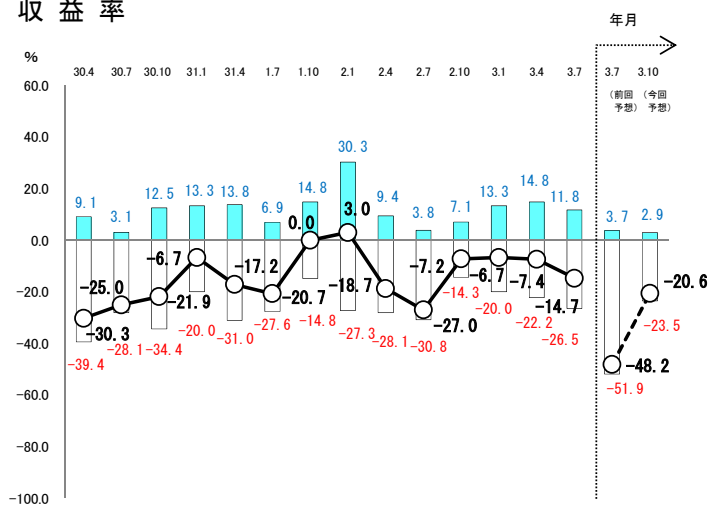
販売価格



資金繰り

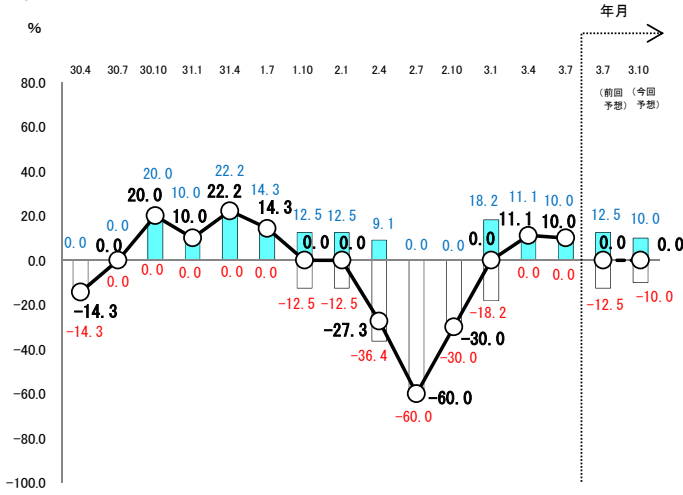


収益率

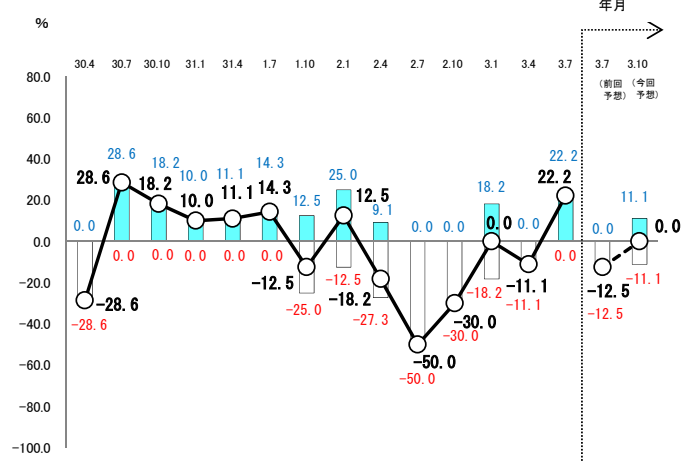


イ 情報サービス業

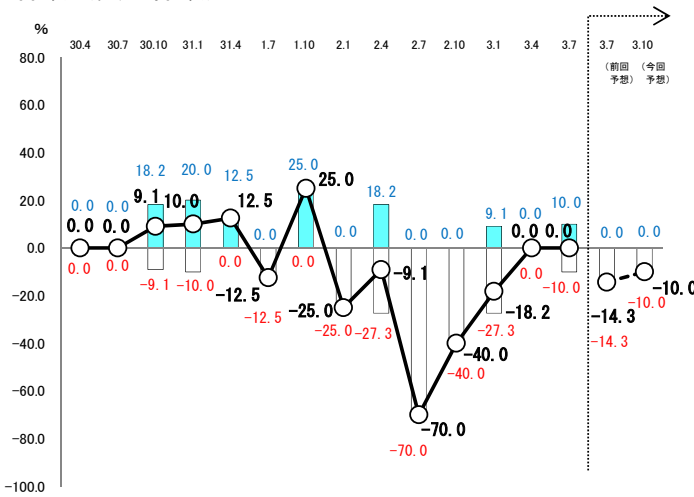
業況



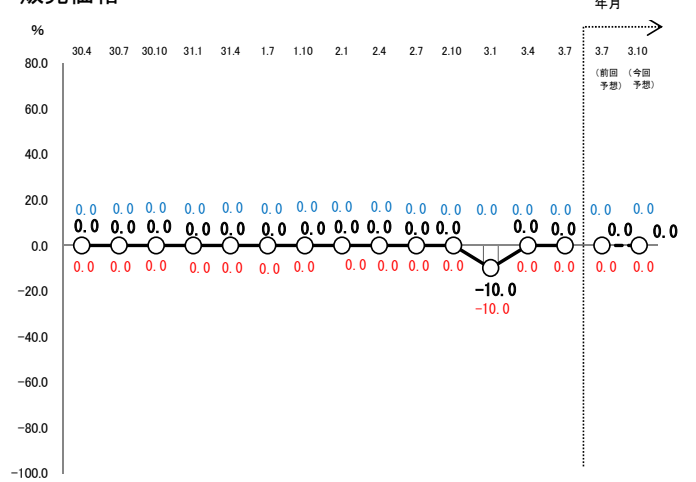
売上高



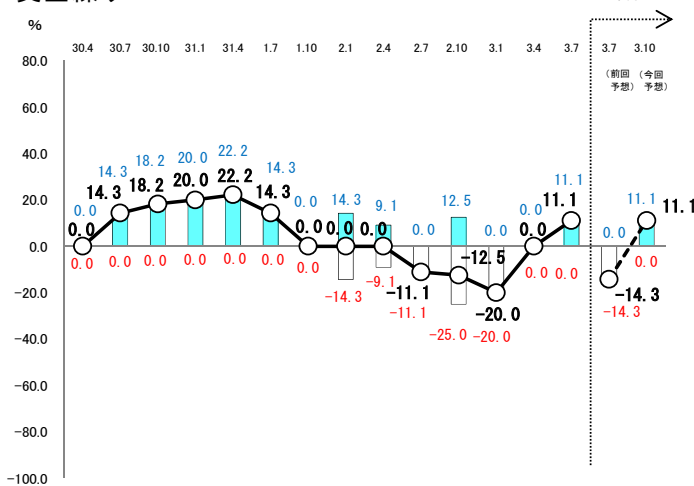
客数 (受注件数)



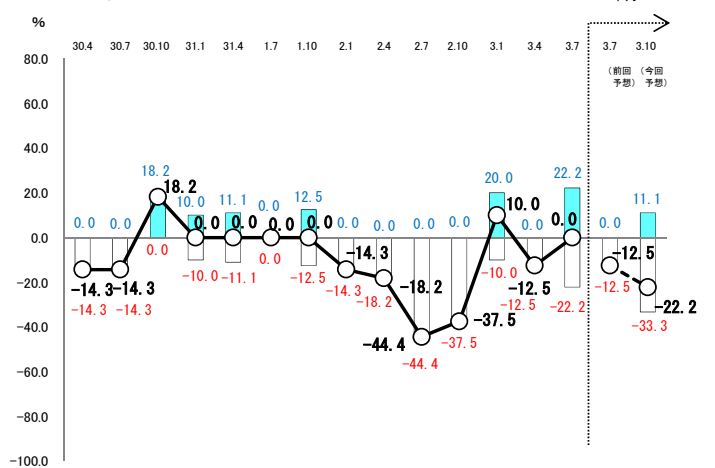
販売価格



資金繰り

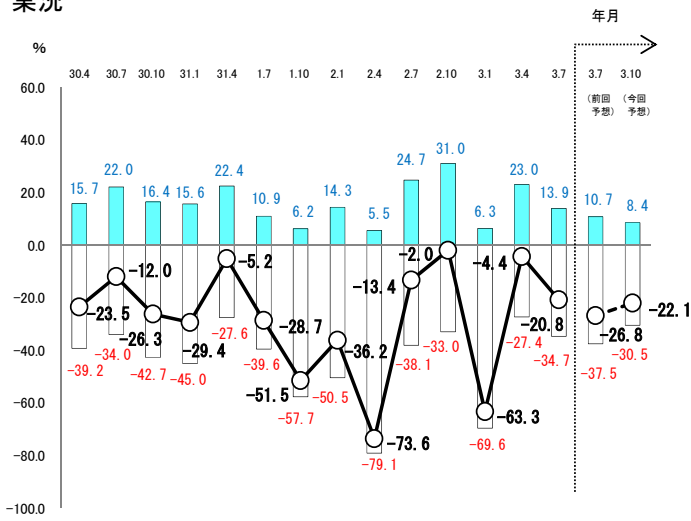


収益率

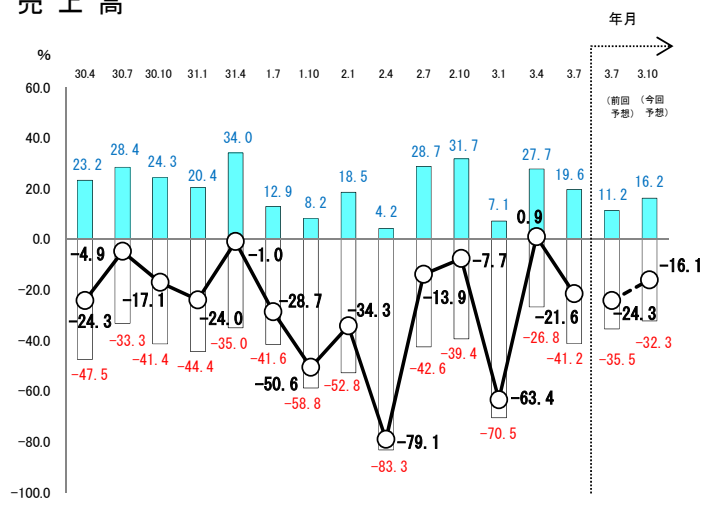


ウ 小売業

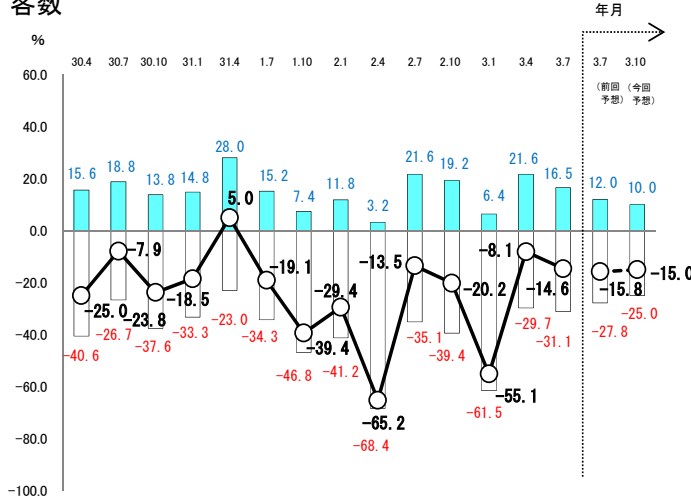
業況



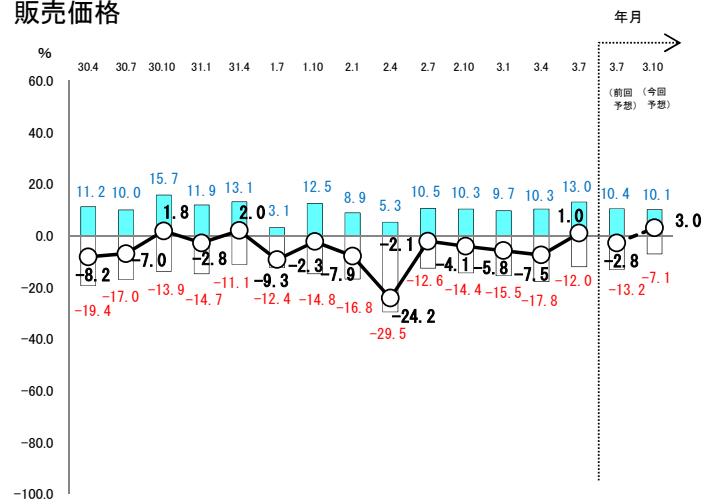
売上高



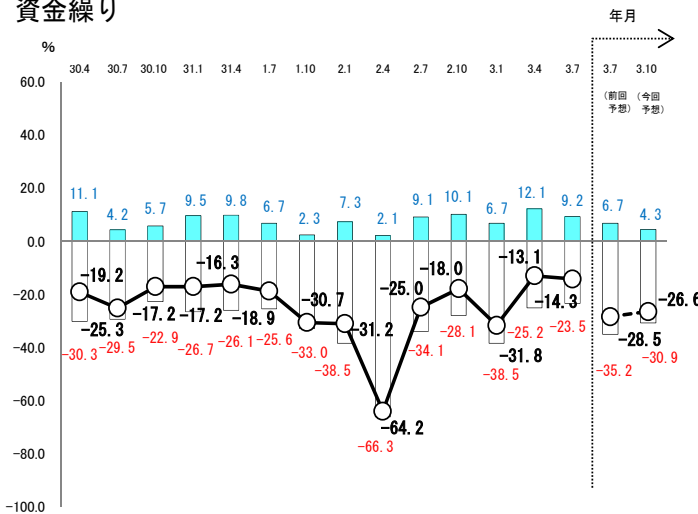
客数



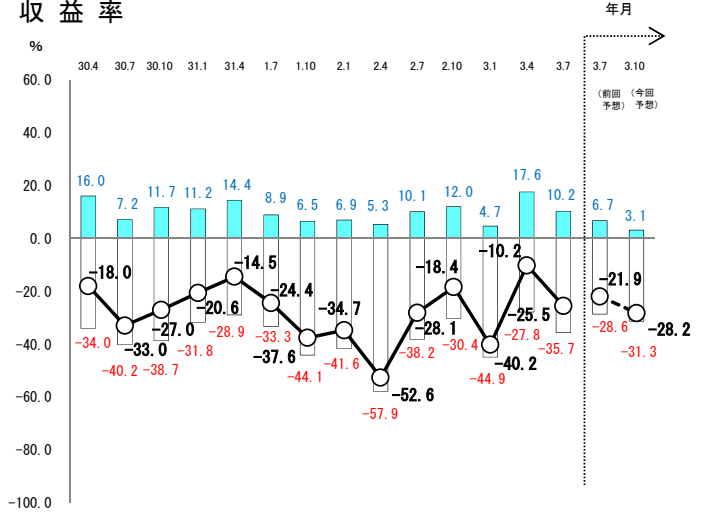
販売価格



資金繰り

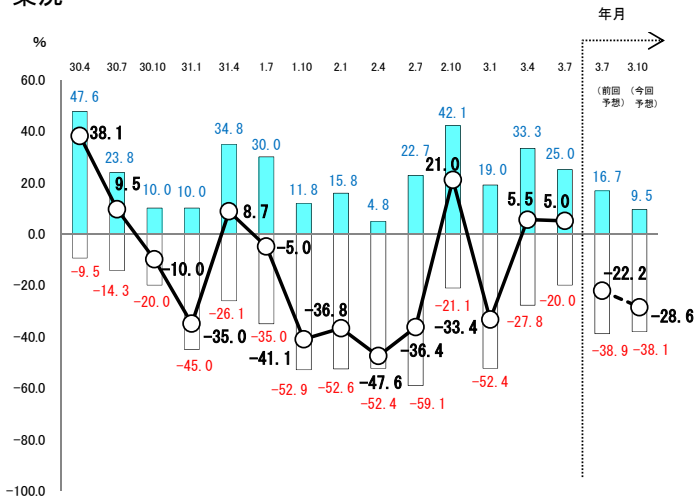


収益率

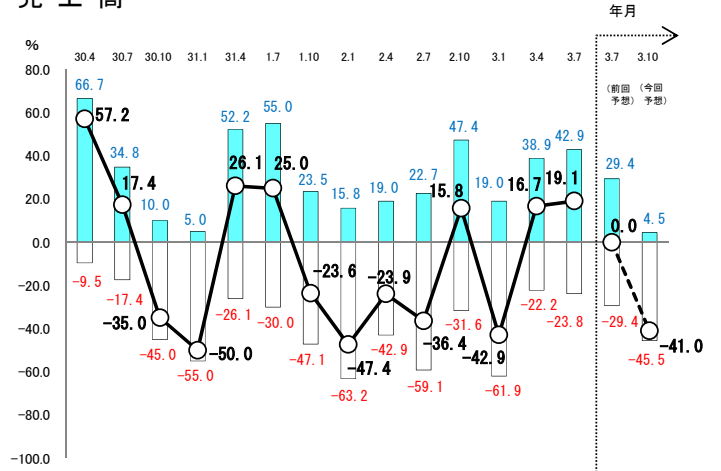


工 卸売業

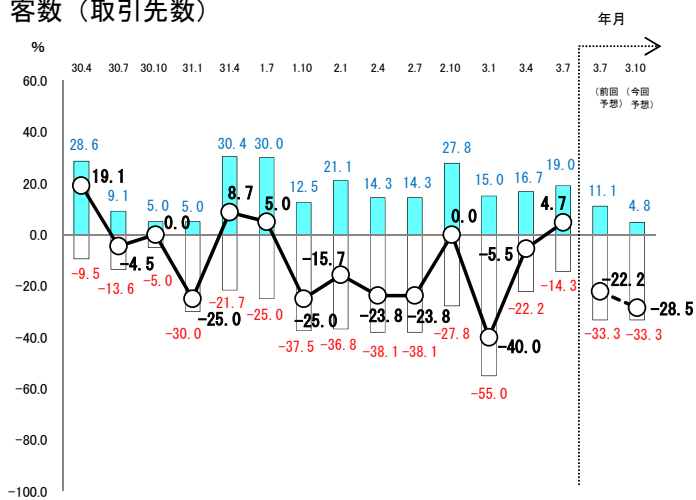
業況



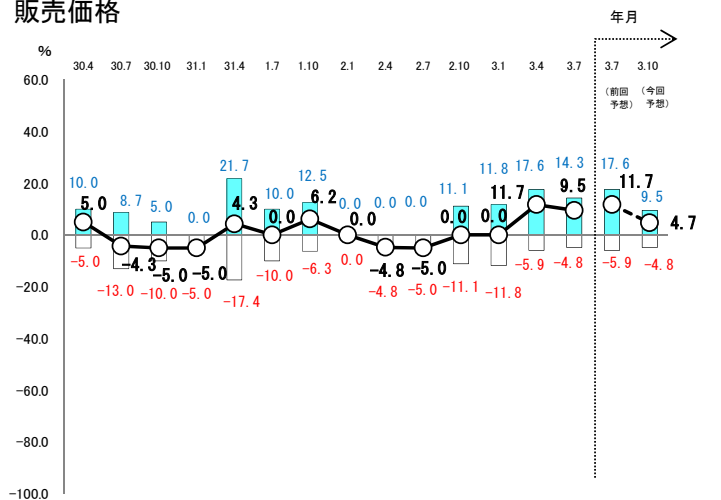
売上高



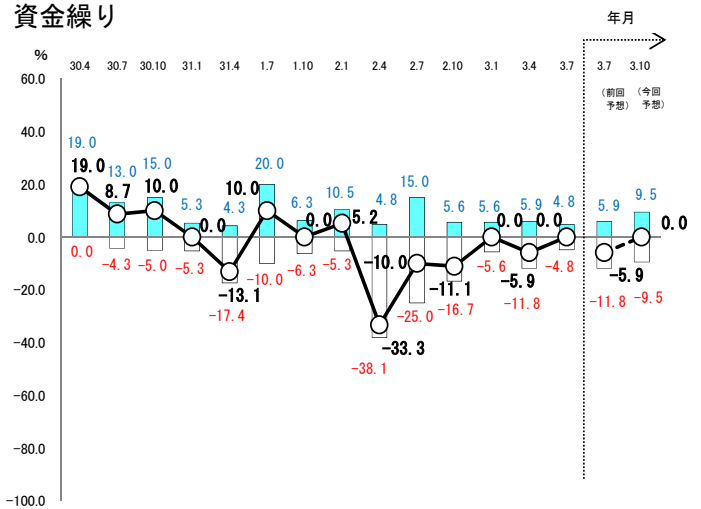
客数 (取引先数)



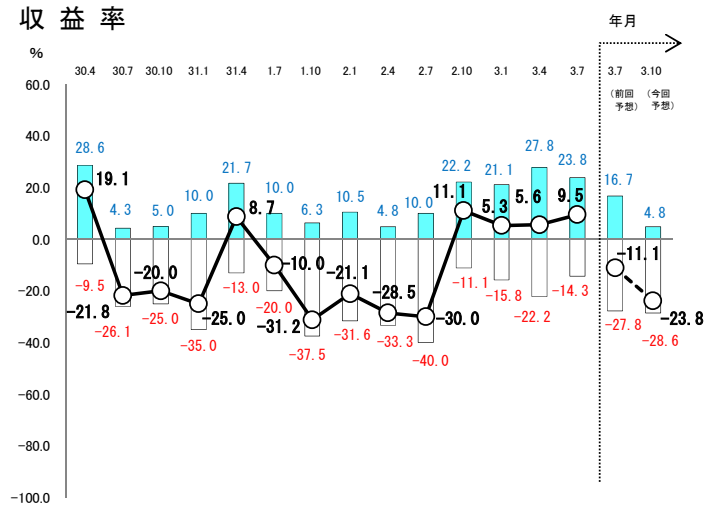
販売価格



資金繰り

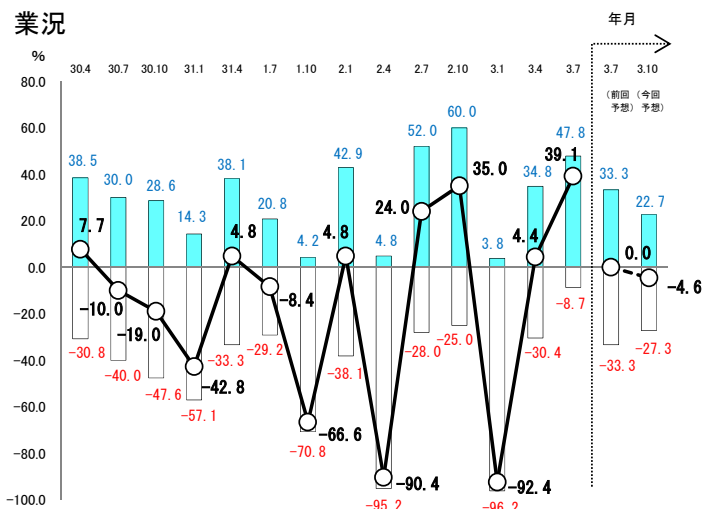


収益率

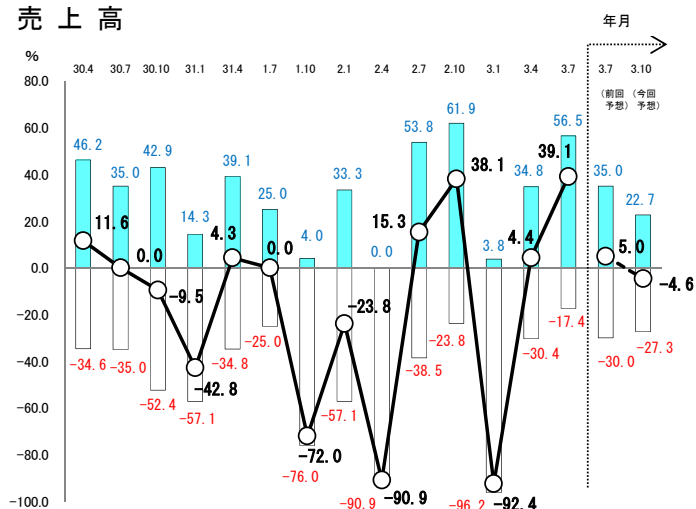


才 飲食業

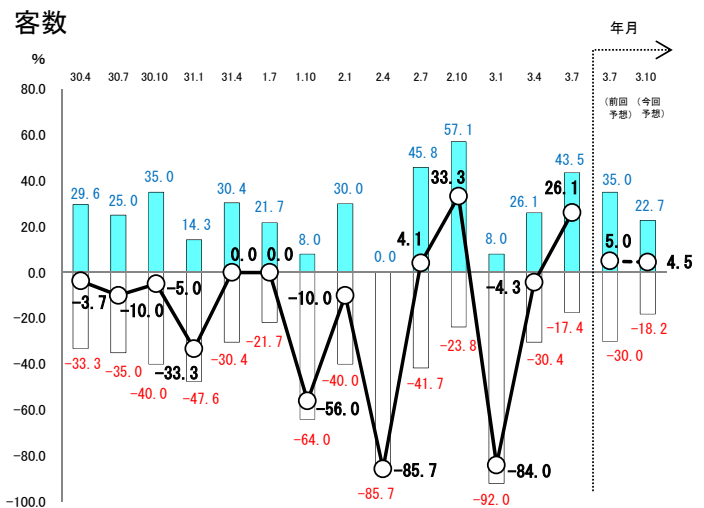
業況



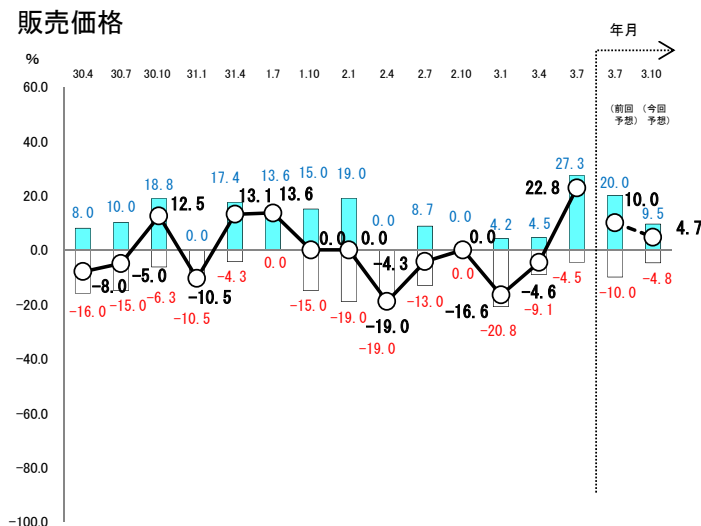
売上高



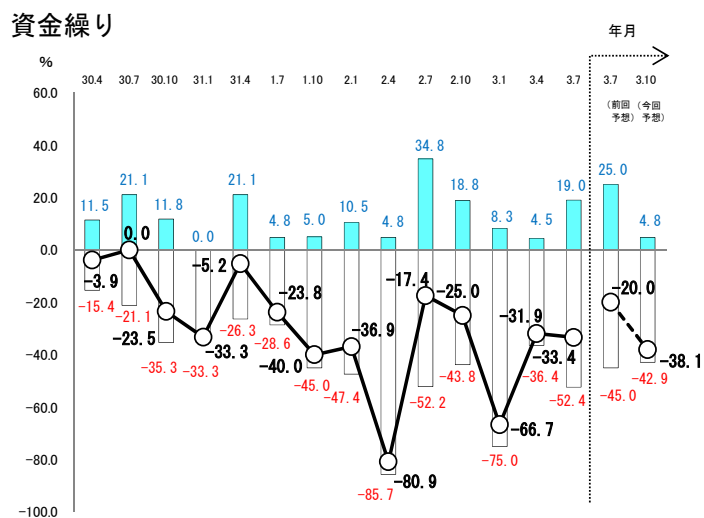
客数



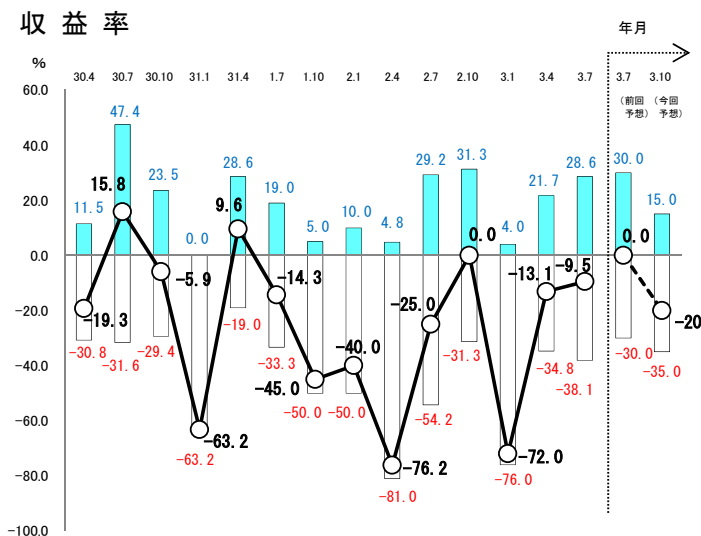
販売価格



資金繰り

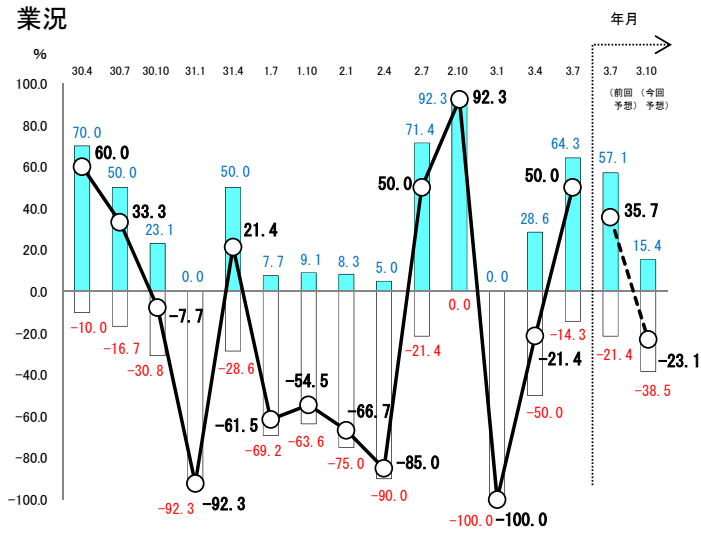


収益率

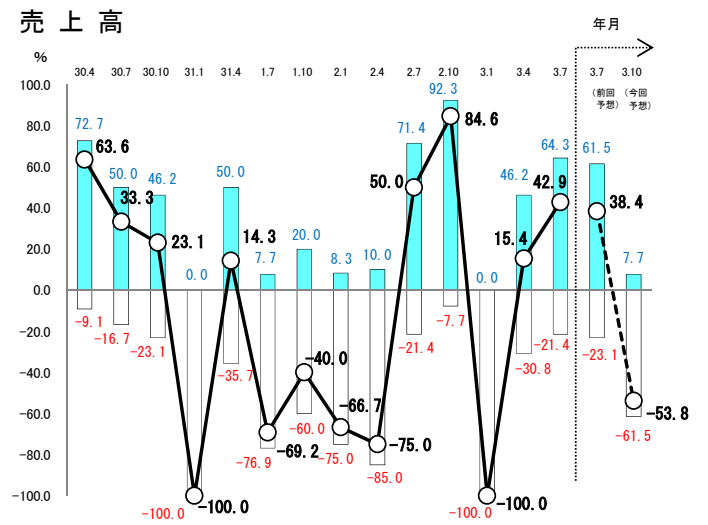


力 宿泊業

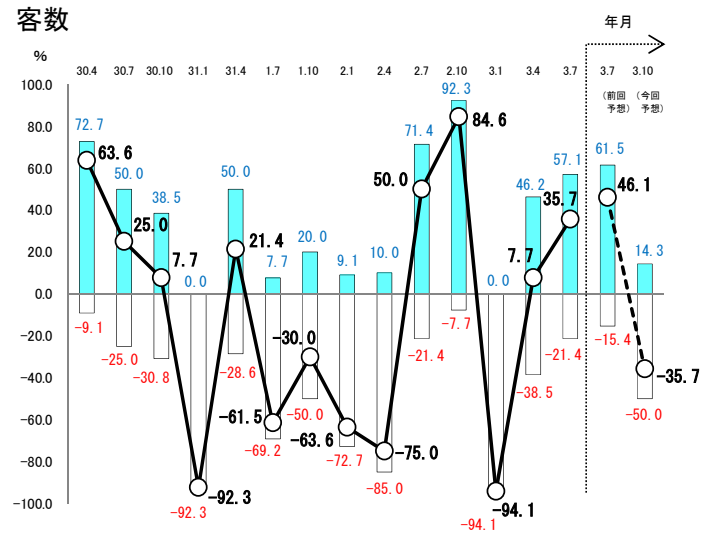
業況



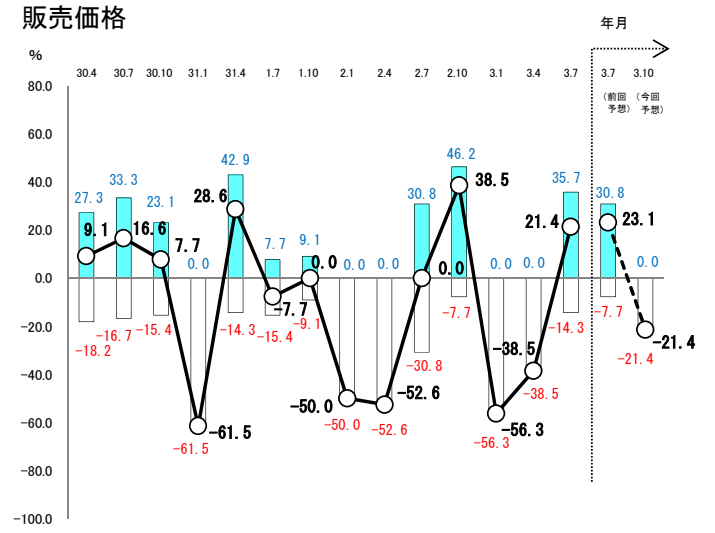
売上高



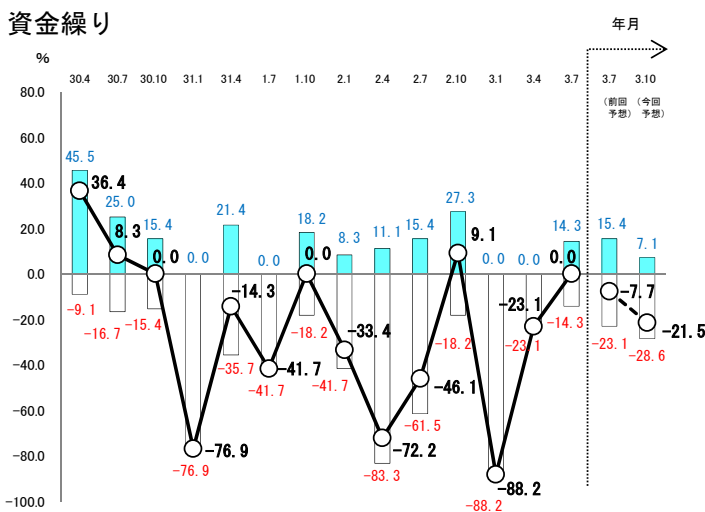
客数



販売価格



資金繰り



収益率

